

施工説明書

水洗便器

\ New / 節水キレイ洗浄

アラウーノV

A・La・Uno V

品番

タイプ		便器	給排水 部材セット	排水芯(mm)
標準	手洗い付き	CH3010WST(7)	CH301F (CH301FM)	120/200
	手洗い無し	CH3010WS(7)		
リフォーム	手洗い付き	CH3010WST(7)	CH301FR (CH301FM)	305 ~ 470
	手洗い無し	CH3010WS(7)		
・オプション				
便器洗浄リモコン	CH300S			

(7) : 寒冷地仕様



※写真は、便座「Newアラウーノ専用トワレ」(別売)を組み合わせた場合です。

Panasonic®

床排水タイプ

標準タイプ

リフォームタイプ

- 施工にあたっては、2ページの「施工チャート」を参照してください

■ もくじ

施工チャート	2
各部のなまえ	3
部品の確認	4
安全上のご注意	6
取り付け前の確認	7
寸法図	8
タイプ別の施工手順	9 ~ 31
施工完了チェックリスト	裏表紙
引き渡し	裏表紙

- この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」(6 ~ 7ページ)は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 施工後は引き渡しの際に、取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明いただき、保証書に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

施工前の確認

手洗い

標準タイプ

リフォームタイプ

共通

施工後の確認



▶ 施工チャート

● タイプ別に必要な施工内容と施工手順が異なります。下記を参照し、施工の流れを確認してください。

施工前の確認

手洗いの施工手順

「アラウーノ専用
手洗い」と併設 **別売
手洗**

※図は
キャビネット
タイプ

9 ページ

または

手洗い付き **T**

9 ~ 14 ページ

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 便器設置前の手順 9 | <ol style="list-style-type: none"> 1 サイドカバー・リアカバーの取り外し 9 2 排水導入管 A の取り付け 10 3 給水ホース（下側）の取り付け 10 4 支柱パイプの取り付け 11 5 手洗いの取り付け 11 6 コネクタの接続 12 7 リアカバーの取り付け 12 8 給水ホース（上側）の取り付け 13 9 排水導入管 B の取り付け ... 14 10 排水導入管 C の取り付け ... 14 |
|--|---|

手洗いの施工

便器の施工

便器の施工手順

標準タイプ **H**

15 ~ 18 ページ

または

リフォームタイプ **R**

19 ~ 24 ページ

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 配管工事（止水栓の取り付け）... 15 2 床工事 15 3 床フランジとリングの接着 ... 16 4 床フランジの取り付け .. 16 5 サイドカバーの取り外し .. 17 6 便器の取り付け 18 | <ol style="list-style-type: none"> 1 給水位置の確認 19 2 止水栓の取り付け 19 3 既設便器の取り外し 20 4 床アジャスタの切断 20 5 排水アジャスタの組み立て .. 22 6 排水アジャスタの取り付け .. 23 7 サイドカバーの取り外し ... 24 8 便器の取り付け 24 |
|--|---|

※「アラウーノ専用手洗い」に付属の
施工説明書を参照

「アラウーノ専用手洗い」と
併設の場合

共通 共通の施工手順 25 ~ 31 ページ

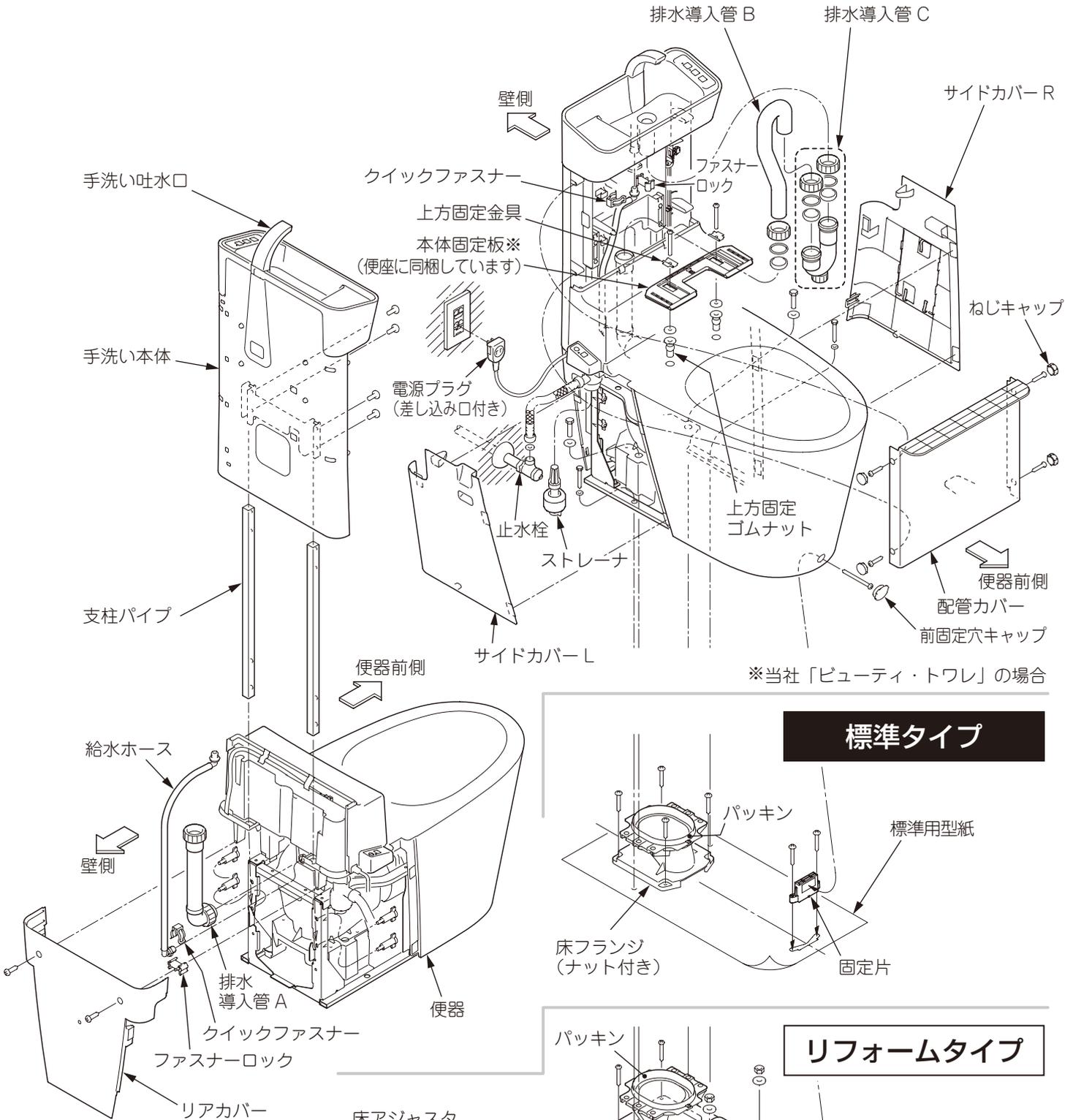
- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 止水栓への接続 25 2 便座の取り付け 26 3 リモコンホルダーの取り付け（オプション） 26 4 リモコンの取り付け（オプション） 27 5 電源プラグの差し込み 27 6 試運転と水漏れの確認 27 ・ 低水圧地域の場合（手洗い吐水と便器洗浄のタイミングの変更）
（手洗い付きの場合） 28 | <ol style="list-style-type: none"> 7 便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合） 28 ・ 水栓数の変更（手洗い付きの場合） 29 8 ストレーナの掃除 29 ・ 施工後に、長期間使用しない場合（便器内部の水抜き） ... 30 9 サイドカバーの取り付け 31 10 配管カバーの取り付け（手洗い付きの場合） 31 |
|---|--|

施工完了チェック・引き渡し 裏表紙

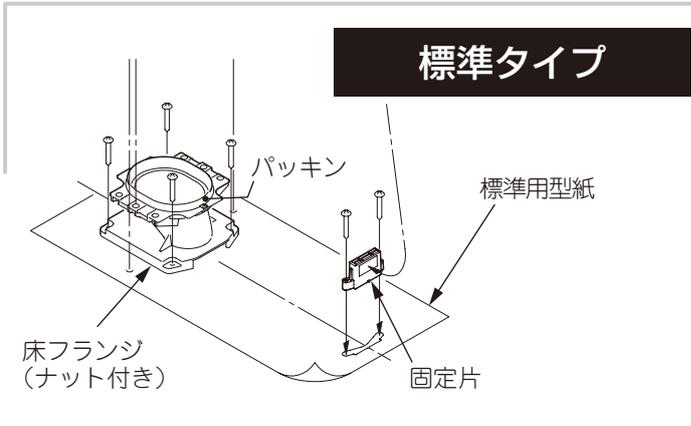
各部のなまえ

● 手洗い付きのイラストで説明しています。

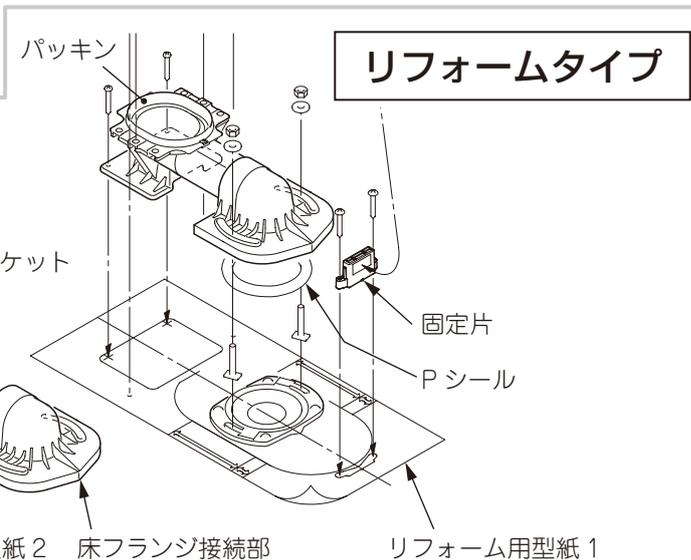
施工前の確認



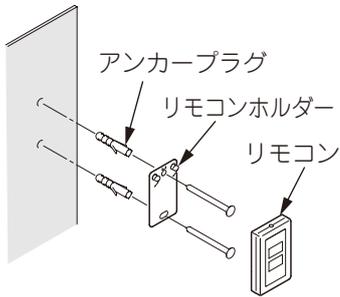
標準タイプ



リフォームタイプ



● リモコン (オプション)

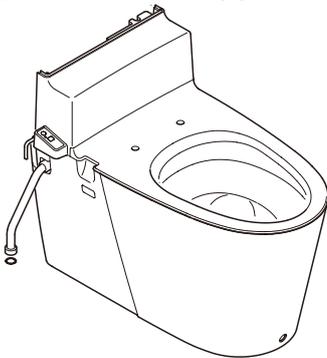
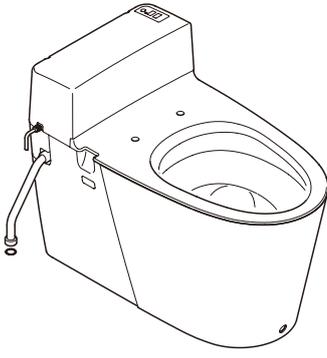


▶ 部品の確認

● 施工前に部品数量を確認してください。また品質に支障のある損傷がないか確認してください。

便器

▶ 便器

便器 (給水ホース・ パッキン付き)	手洗い付き (品番：CH3010WST(7)) 	いずれか 1個
	手洗い無し (品番：CH3010WS(7)) 	

▶ 便座固定金具セット

- 取り付け方は、便座の施工説明書をご参照ください。
専用便座以外はこの部品は使用しません。
(それぞれの便座に同梱の部品をご使用ください。)

上方固定金具		2個
上方固定パッキン		2個
なべ小ねじ (M6×50 mm)		2本
上方固定ゴムナット		2個
ゴムスペーサー		1個

▶ 便器取付ねじセット

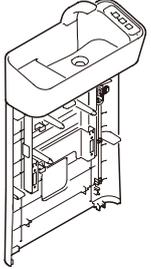
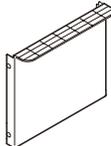
アップセットタッピンねじ (φ6×45 mm)		2本
平座金 (6×16×1.0 mm)		2個
なべタッピンねじ (φ5×60 mm)		1本
前固定穴キャップ		1個

▶ 説明書セット

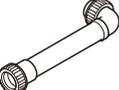
取扱説明書		1部
施工説明書(本書)		1部
保証書		1部

手洗い部

▶ 手洗い本体

手洗い本体		1個
支柱パイプ		2個
配管カバー		1個

▶ 配管セット

排水導入管A (袋ナット・スリップ ワッシャ・パッキン 付き)		1個
排水導入管B		1個
排水導入管C (袋ナット・スリップ ワッシャ・パッキン 付き)		1個

▶ 小物成形品セット

ファスナー ロック		2個
ねじキャップ		4個

▶ ねじセット

なべ小ねじ (ばね座金・ 平座金付き (M5×12 mm))		4セット
つまみ付ボルト (M5×35 mm)		4本
なべタッピン ねじ (φ4×20 mm)		4本
クイック ファスナー		2個

▶ 給水ホース

給水ホース		1本
-------	---	----

配管セット(別売品)

▶ 床フランジセット

		標準タイプ CH301F	マルチタイプ CH301FM
床フランジ		1個	1個
パッキン		1個	1個
VU75用リング		1個	1個
VP100用リング※		1個	1個
VU100用リング※		1個	1個
トラスタッピンねじ (φ5×35 mm)		4本	4本
六角ボルト (M8×30 mm)		2本	2本
平座金 (8.5×22×1.5 mm)		2個	2個
固定片		1個	—
トラスタッピンねじ (φ5×35 mm)		2本	—
止水栓セット (呼び13) (給水管、わん座)		1セット	1セット
標準タイプ用型紙		1枚	1枚

※VP/VU100用リングは、床フランジに仮固定されています。

▶ 床アジャスタセット

		リフォームタイプ CH301FR	マルチタイプ CH301FM
床アジャスタ		1個	1個
パッキン		1個	1個
ソケット※		1個	1個
六角ボルト (M8×30 mm)		2本	2本
平座金 (8.5×18×1.2 mm)		2個	2個
床フランジ接続部		1個	1個
T型ボルト		2本	2本
平座金 (8.5×22×1.5 mm)		2個	2個
ナット (M8)		2個	2個
トラスタッピンねじ (φ5×35 mm)		2本	2本
Pシール		1個	1個
固定片		1個	1個
トラスタッピンねじ (φ5×35 mm)		2本	2本
リフォームタイプ用 型紙1		1枚	1枚
リフォームタイプ用 型紙2		1枚	1枚
止水栓セット (呼び13) (給水管、わん座)		1セット	—

※排水位置が446~470の場合はソケットが必要です。

リモコン(オプション)(CH300S)

▶ リモコンセット

リモコン		1個	単4マンガン乾電池		2本
リモコンホルダー		1個	皿ねじ (φ3.5×16 mm)		2本
			皿ねじ (φ3.5×38 mm)		2本
			アンカープラグ		2本

安全上のご注意

必ずお守りください

▶ 人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図の記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



禁止

全般

- 分解や改造はしない
感電・火災・けがの原因になります。
- 浴室内など湿気が多い場所、水洗い洗浄ができる床に設置しない
感電や火災の原因になります。

電気に関すること

- 電源コードで便器をつり下げない
けがおよび発火や発煙の原因になります。
- 便器や手洗いの操作部、電源プラグに水や汚水をかけない
- ぬれた手で電源プラグを触らない
感電・火災・けがの原因になります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない、また電源コードを破損するようなことはしない
感電・火災・けがの原因になります。
- 給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない
感電や火災のおそれがあります。



禁止

電気に関すること(つづき)

- 便器を取り付けるときは、電源コードをはさみ込まない
火災や感電の原因になります。

全般

- 必ず施工説明書に従って施工する
感電・火災・けがの原因になります。

電気に関すること

- 必ず交流100Vで使用する
- コンセントや配線器具は必ず定格内で使用する
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池に関すること[リモコン(オプション)]

- 電池の ⊕、⊖ を正しく入れる
取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。
- 漏電・火災・水漏れの防止
- 電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う
漏電・火災・水漏れの原因になります。



必ず守る

注意



禁止

全般

- 給水ホースや便器給水部排水、手洗い吐水口などに力を加えない
水漏れの原因になります。
- 便器・手洗いに固いものや重いもの、とがったものを落としたり、当てたりしない
変形・破損によるけがの原因になります。



リフォームタイプ

- Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない
排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

床フランジ(標準タイプ)

- 床フランジを無理な力で固定しない、また、割れたまま使用しない
水漏れの原因になります。



禁止

水漏れ防止

- 止水栓を開いたままストレーナを外さない
水が噴き出し拡大損害になります。

洗剤・薬品に関すること

- 便器のお手入れには下記洗剤を使用しない
製品が割れてけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。
- 【使用してはいけない洗剤】
 - 台所用合成洗剤(中性)、アラウーノフォーム(便器外側のみ使用不可)
 - 酸性・アルカリ性洗剤*1
 - 重曹、アルコールを含む洗剤*2
 - トイレ掃除用ペーパー*3
 - オレンジオイルを含む洗剤
 - 柑橘系の香りを有する洗剤
 - 消臭剤
 - 滴下するタイプの消臭液
 - シンナー、ベンジン、消毒薬、その他薬品

*1…湿布法(取扱説明書19ページ)でお手入れを行う場合は使用可能です。
*2…エタノール、イソプロピルアルコールなど
*3…花王製トイレクイックルは使用可能です。(当社試験により確認済み)

⚠ 注意

水漏れ防止

- 水道工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う
- 給排水接続は必ず正しい方法で施工する
- 必ず1/100以上の十分な排水勾配をとる
- 床面は、水平に施工する
- 給排水の接続には必ず同梱のパッキンを使用する
- 止水栓にがたつきがないことを確認する
- 必ず商品に同梱の指定のねじを使用する
- 便器ががたつきがないことを確認する
- ねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする
- ストレーナふたをしっかりと締めつける
水漏れの原因になります。
- 2階以上のトイレルームに設置するときは、必ず床フランジまわりにシーリングを行う
階下への水漏れのおそれがあります。
- 施工後必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する
水漏れによる拡大損害の原因になります。

凍結防止

- 設置後、しばらく使用せず、凍結のおそれがある場合は、水抜きや不凍液を入れるなどの凍結防止をする
破損・水漏れの原因になります。

凍結防止

- 寒冷地以外の地域においても、屋外配管・露出配管については凍結防止ヒーターを取り付けるなどの適切な凍結予防対策を実施する
冬場周囲温度が0℃以下になると、凍結し、機器や配管が破損したり水漏れの原因になります。

床フランジ(標準タイプ)

- リングとの接着は、排水管・リングの種類
の適合、接着向きを正しく行う、
また、塩ビ用接着剤を接着面全面に塗り、
奥まで十分接着する
床フランジ部からの水漏れ、臭いなどの原因になります。
- 床からの浮きがないようにしっかりと固定する
便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。

排水アジャスタ(リフォームタイプ)

- 既設床フランジにしっかりと固定する
水漏れの原因になります。
- 接着は接着面全面に塩ビ管用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に差し込み接着する
水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。
- 床アジャスタの切断後、端部のバリ、汚れを完全に取り除く
- がたつきがないことを確認する
水漏れの原因になります。



必ず守る



必ず守る

施工前の確認

▶ 取り付け前の確認

公的機関の確認事項

- 一部特定の地域では設置できない場合や水道事業者の承認が必要な場合があります。当社営業所、または販売店にご相談ください。
- パナソニック製便器は不燃材ではありません。設置の場合は、消防法関連法令および告示などに基き設置してください。

給排水設備工事に関する注意事項

- この製品は上水道でのみご使用いただけます。
- 水洗便器の施工に際しては、下水道への放流の場合、自治体の指定業者でなければなりませんのでご注意ください。当社営業所、または販売店にご相談ください。
- 使用水圧範囲は、0.05 MPa (流動時) ~ 0.75 MPa (静止時) です。最低使用水圧未満で使用した場合は洗浄水が十分に流れず便器に汚物が残ったり、便器洗浄性能を損なったり封水が確保できなくなるおそれがあります。必ず指定の水圧範囲内でご使用ください。
- 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合の使用水圧範囲は、0.1 MPa (流動時) ~ 0.75 MPa (静止時) です。
- 便器洗浄水量(流動時0.2 MPa時)

モード	大洗浄	小洗浄
標準モード(出荷時)	4.6 L	3 L
増量モード1	5.7 L	3 L
増量モード2	8 L	3 L

- キッチンなど他の蛇口が開いたり、便器洗浄と手洗いの水を同時に使用した場合、洗浄流量が下がります。低水圧環境下での使用で、便器洗浄水の流れが弱い場合や手洗いから水が出ない場合は、手洗い吐水のタイミングを変更してください。(28ページ参照)

向かって右に給水位置がある場合

- オプションの延長給水ホースが必要となります。

長さ	品番
1 m	CH10OR01

※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース(CH10OR02)では長さが足りません。

電気工事に関する注意事項

- 以下の仕様の場合は必要なコンセントの数が変わります。

仕 様		必要なコンセントの数
便器のみ設置	寒冷地仕様	2個
「アラウーノ専用 手洗い」と併設	自動水栓	2個
	自動水栓+寒冷地仕様	3個

- 便器用電源プラグは差し込み口付きです。差し込み口の使用容量は1400 Wまでです。
- 第3種接地工事が必要な機器を接続する場合は、別途アース線の接続が必要です。
- 製品コードの長さは1 mです。

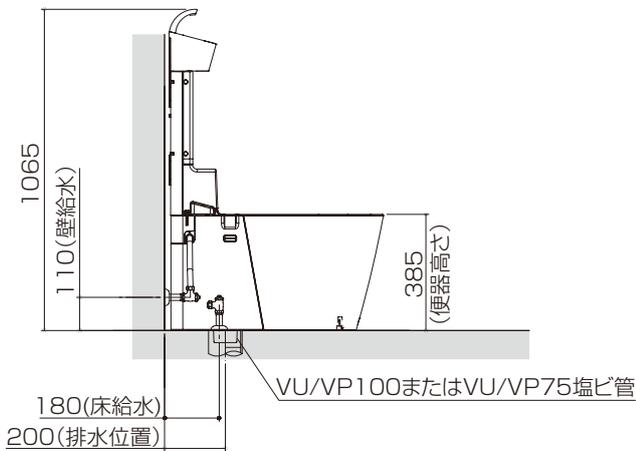
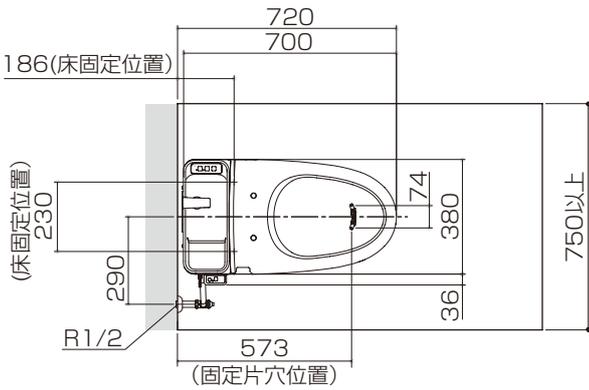
その他

- 同室で2台以上並べて設置される場合、隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(有料)
- リモコンからの信号は、天井および壁に反射して便器に受光されますので、リモコンや便器受光部の上部に棚やカウンター・温水洗浄便座のリモコンなどを設置しないでください。
- リモコンは指定の範囲内に取り付けてください。
- 次のような場合、リモコンが作動しにくい場合があります。
【直射日光がリモコン受光部・発光部にあたっている場合】
直射日光をカーテンなどで遮断してください。
【インバータ照明など特定の照明をご使用の場合】
照明を消すと正常に動作する場合は、照明器具の交換をご確認ください。
- 壁紙や天井が黒色や濃い色の場合、リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。製品の納入前に必ず現場をご確認ください。
- 製品の使用温度範囲は0~40℃です。必ず指定の温度環境で設置してください。
- 手洗い付きの場合、施工完了後は必ず手洗い通水し、封水してください。
- 扉開閉時に扉が便器に当たらない位置に設置してください。
- 必ず指定の止水栓をお使いください。止水栓は壁給水・床給水兼用です。
- トイレ用床材(木質床材、クッションフロアなど)の選定に当たっては、耐水・耐アンモニア性などに十分ご配慮ください。床に滴下した小便が便器と床材のすき間に進入し床にシミが発生することがあります。
- 直射日光や強いライトが製品にあたる位置への設置は避けください。製品が変色したり劣化したりするおそれがあります。

寸法図

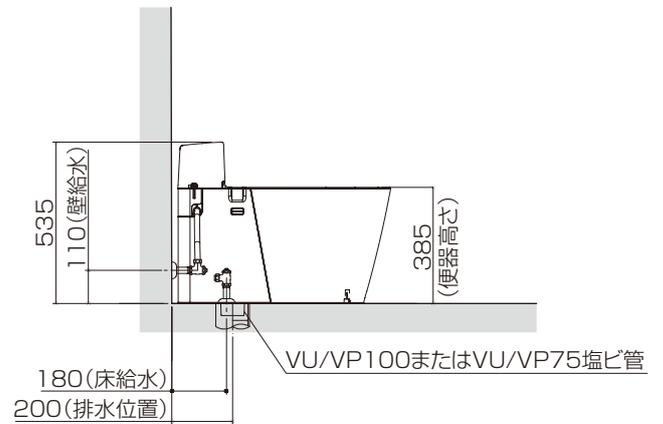
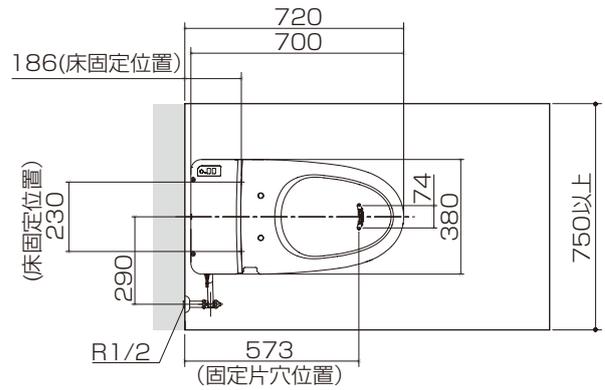
標準タイプ

● 手洗い付き



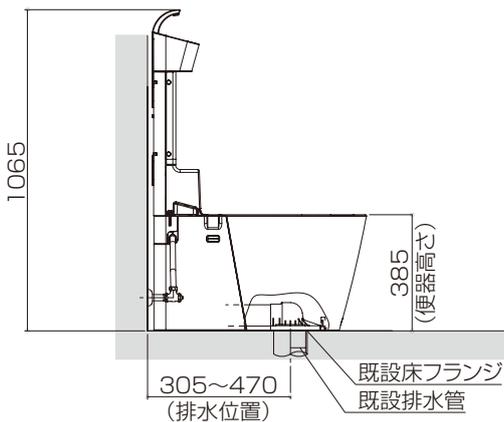
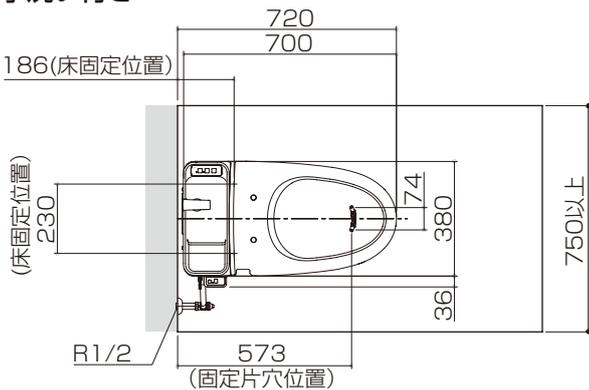
● 手洗い無し

(寸法単位: mm)



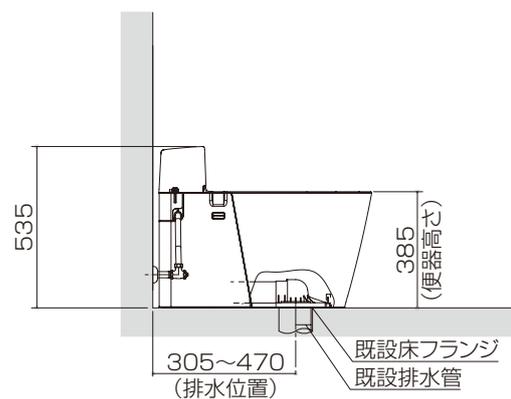
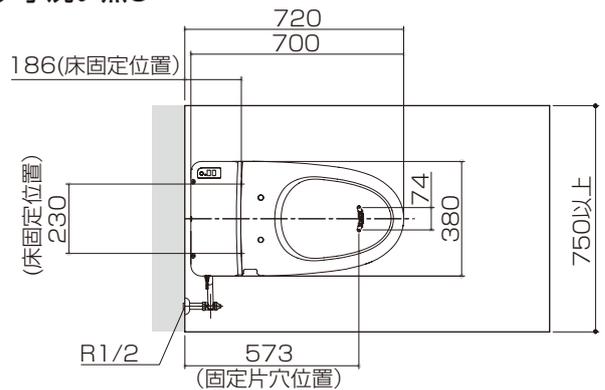
リフォームタイプ

● 手洗い付き



● 手洗い無し

(寸法単位: mm)



※給水位置は既設の位置をご確認ください。

施工前の確認

「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合

- 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

警告



禁止

- 分解や改造はしない
感電・火災・けがの原因になります。



必ず守る

- 必ず施工説明書に従って施工する
感電・火災・けがの原因になります。

手順 1

便器設置前の手順

- 右記の ① ~ ⑤ は「アラウーノ専用手洗い」に付属の説明書を参照してください。

- ① 「アラウーノ専用手洗い」を壁に据え付ける
- ② 給水管・排水管を「アラウーノ専用手洗い」に取り付ける
- ③ 便器のリアカバーを外し、指定の位置を切り欠く
- ④ 排水導入管を便器に取り付ける
- ⑤ リアカバーを取り付ける

H 標準タイプの場合→15ページ / **R** リフォームタイプの場合→19ページ

T 手洗いの取り付け

- 手洗い付きの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

警告



禁止

- 分解や改造はしない
感電・火災・けがの原因になります。



必ず守る

- 必ず施工説明書に従って施工する
感電・火災・けがの原因になります。

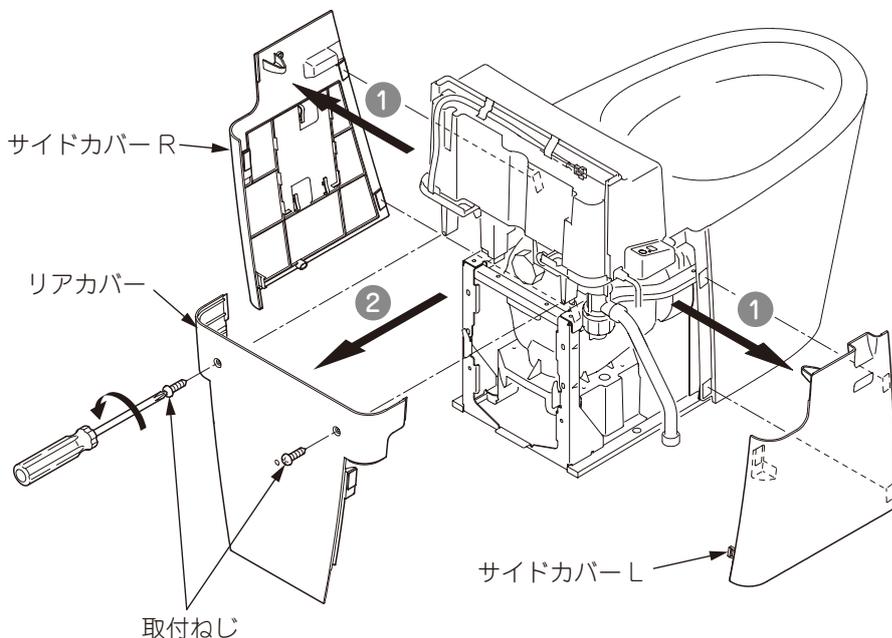
手順 1

サイドカバー・リアカバーの 取り外し

- ① サイドカバーの取っ手に手を掛けて引き、
サイドカバーを取り外す
- ② 取付ねじ 2か所 を緩めて外し、
リアカバーを取り外す

お願い

- 外したねじを無くさないでください。
「手順7」でリアカバーの取り付けに
使用します。 (12ページ参照)



手順 2

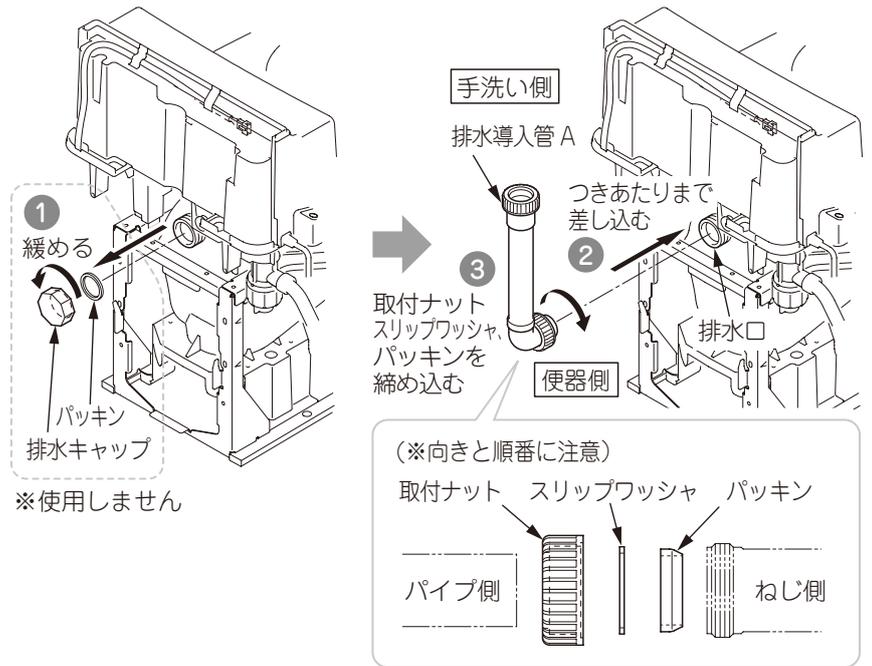
排水導入管Aの取り付け

- 1 便器背面の排水キャップとパッキンを緩めて外す
(取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。)
(外しにくい場合は工具を使ってください。)
- 2 排水導入管Aの便器側を排水口に差し込む
- 3 取付ナット、スリップワッシャ、パッキンを締め込み固定する

注意

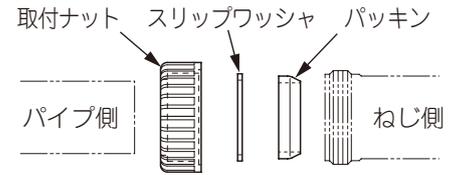


- スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む
水漏れの原因になります。
- 排水導入管Aを、つきあたりまで確実に差し込む
水漏れやリアカバーが閉まらないなどのおそれがあります。



※使用しません

(※向きと順番に注意)



手順 3

給水ホース(下側)の取り付け

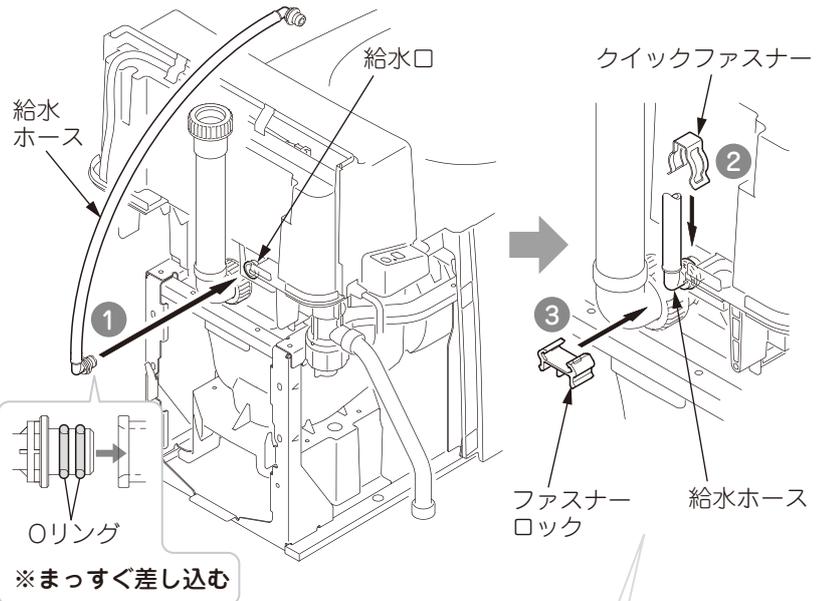
- 1 給水ホースを便器の給水口に差し込む

注意



- Oリングに汚れがついていたり、ねじれていたりしないか確認する
- Oリングがかまわないように給水ホースをまっすぐに差し込む
水漏れの原因になります。

- 2 クイックファスナーの切り欠きを給水ホース接続部の凸部にはめ込む
- 3 ファスナーロックをクイックファスナーの奥まで確実に差し込む

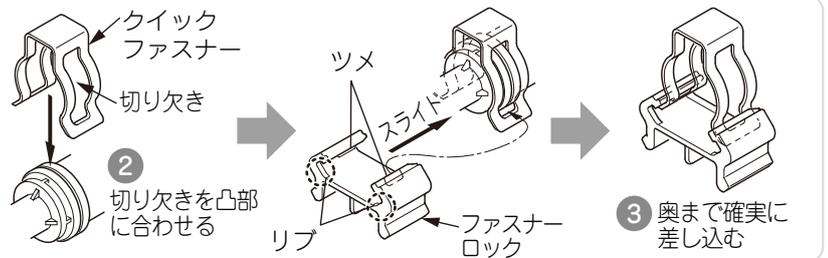


※まっすぐ差し込む

注意

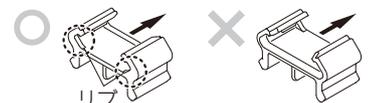


- クイックファスナーおよびファスナーロックを確実に差し込み、給水ホースが抜けないことを確認する
水漏れの原因になります。



ポイント

- ファスナーロックは、リブ(突起部)の反対側から取り付けてください。



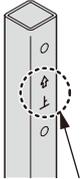
手順 4

支柱パイプの取り付け

- 1 支柱パイプを取付フックに差し込む
- 2 支柱パイプと便器側の取付穴を合わせる
- 3 「<」刻印の位置につまみ付ボルト M5×35 mm で仮固定する 4か所

ポイント

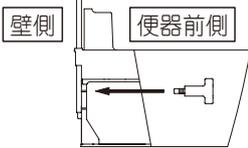
- 支柱パイプは「上」刻印がある方を上にして差し込んでください。



「上」刻印がある方

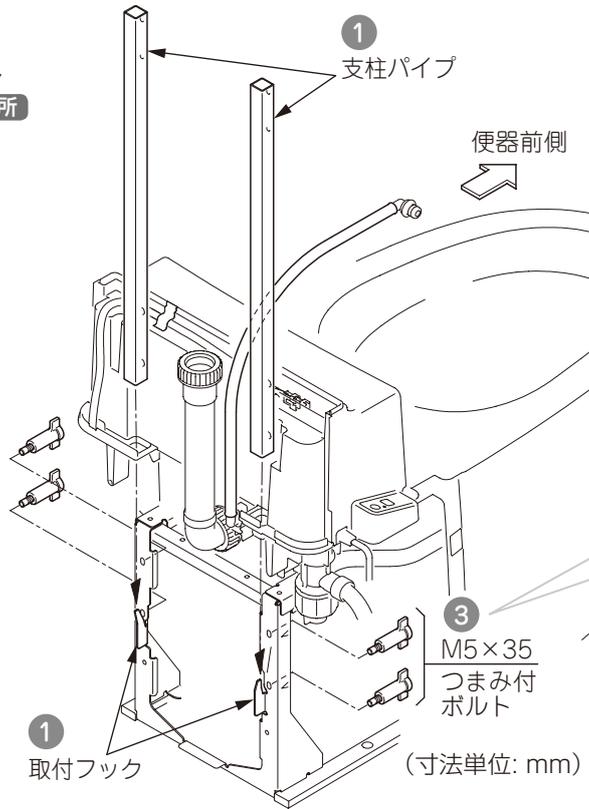
お願い

- つまみ付ボルトは便器前側から取り付けてください。

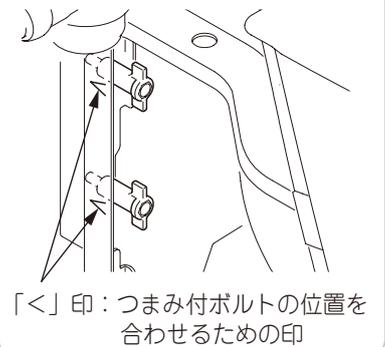
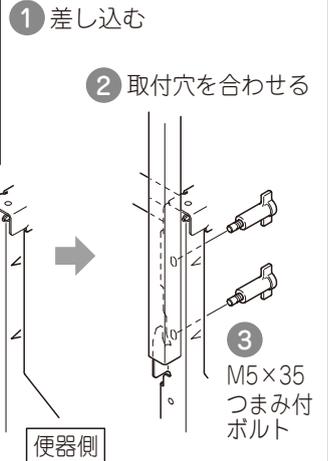


お願い

- 床などを傷つけないよう注意して作業してください。



支柱パイプ

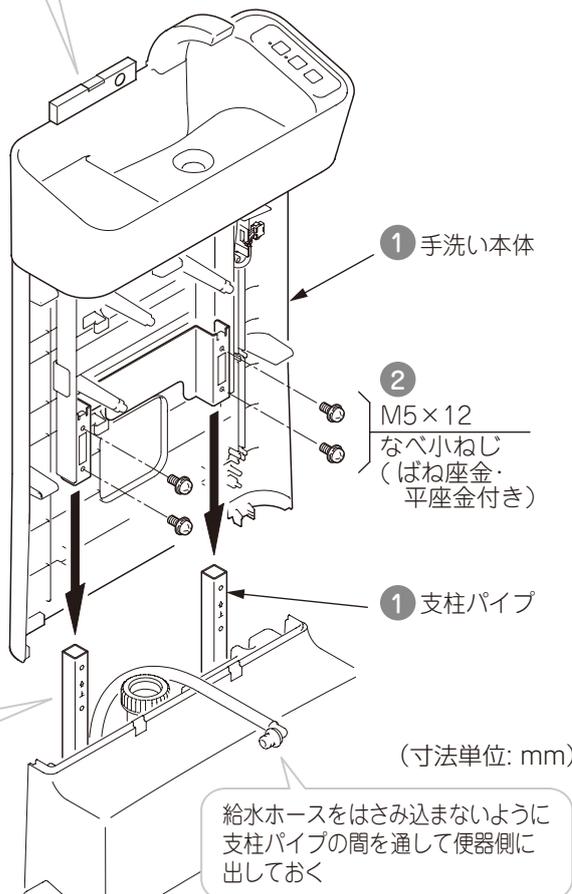


手順 5

手洗いの取り付け

- 1 便器側支柱パイプに手洗い本体を差し込む
- 2 なべ小ねじ(ばね座金・平座金付き) M5×12 mm で固定する 4か所
- 3 左右調整してつまみ付ボルトを締めつける

便器設置後、水平を確認する



差し込み時のポイント

- 壁側に倒れこまないように便器側に寄せて差し込む



左右調整

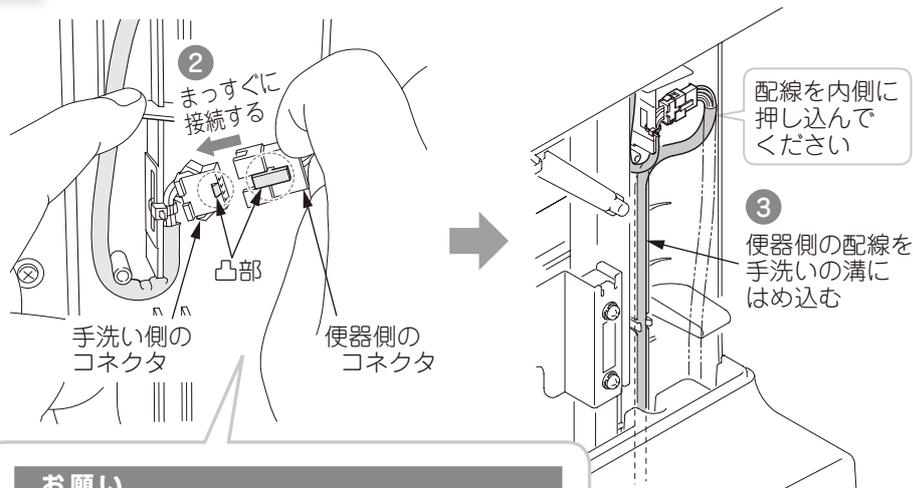
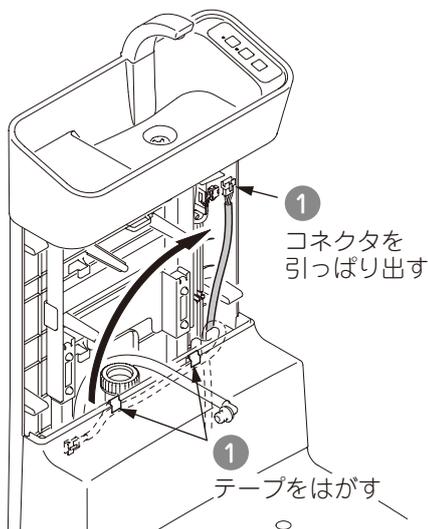
- 手洗いが水平になるように調整しながらつまみ付ボルト 4か所 を締め込んでください。



手順 6

コネクタの接続

- 1 便器に仮固定されているテープをはがし、コネクタを引っ張り出す
- 2 便器側のコネクタを手洗い側のコネクタに接続する
- 3 便器側の配線を手洗いの溝にはめ込む



お願い

- コネクタの向きを確認してください。凸部を目印に差し込んでください。
- コネクタはまっすぐに差し込んでください。コネクタのピンが曲がり、接続できなくなります。

【上から見た図】



手順 7

リアカバーの取り付け

- 1 リアカバーを元の位置に合わせる

ポイント

- リアカバーの下側のツメを便器フレームのアングルに引っ掛けてから、リアカバー上部を押し、取付穴を合わせてください。

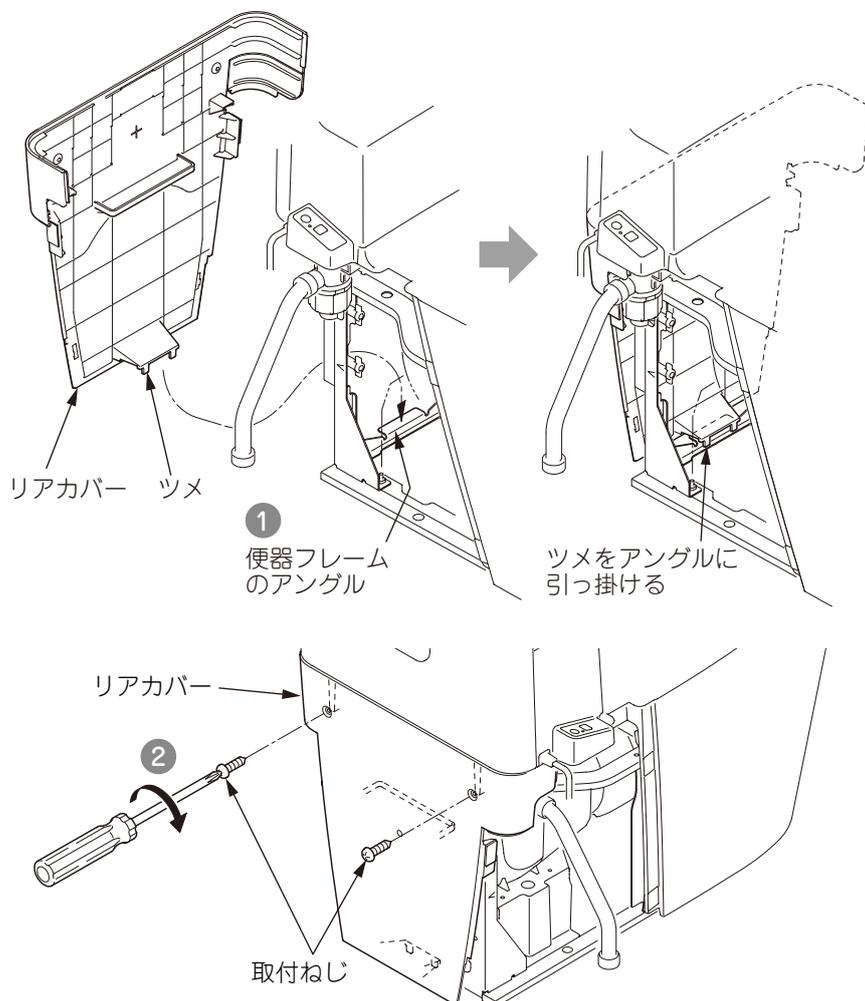
- 2 リアカバーを「手順1」で外した取付ねじで取り付ける **2か所** **9ページ参照**

お願い

- 取り付けには電動ドリルドライバーを使用しないでください。強いトルクで締めつけると破損の原因になります。

リアカバーが取り付けられない場合

- 排水導入管Aが、排水口のつきあたりまで確実に差し込まれているか確認してください。 **10ページ参照**



手順 8

給水ホース(上側)の取り付け

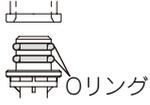
① 手洗い給水口に給水ホースを差し込む

注意



必ず守る

- Oリングに汚れがついていたり、ねじれていたりしないか確認する
- Oリングがかまわないように給水ホースをまっすぐに差し込む



② クイックファスナーの切り欠きを給水ホース接続部の凸部にはめ込む

③ ファスナーロックをクイックファスナーの奥まで確実に差し込む

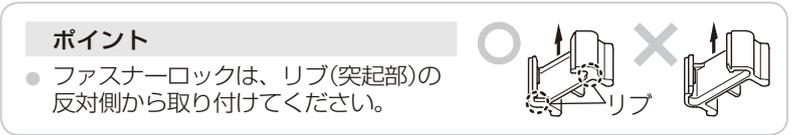
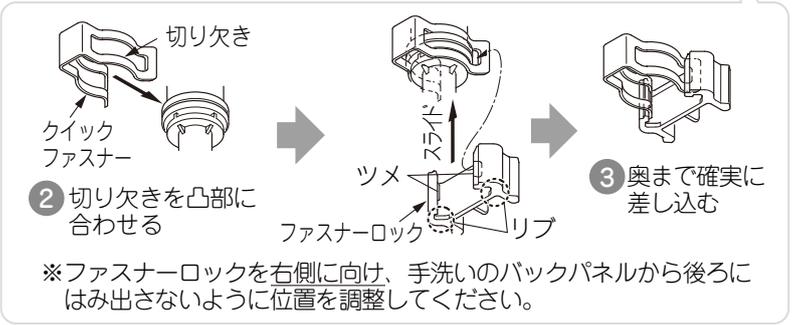
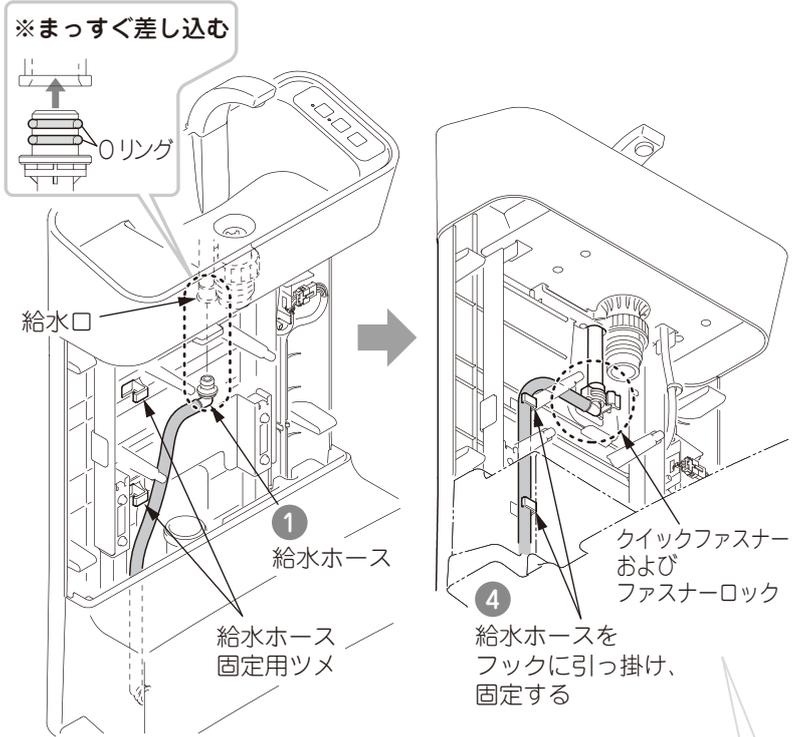
注意



必ず守る

- クイックファスナーおよびファスナーロックを確実に差し込み、給水ホースが抜けないことを確認する

④ 給水ホースをフックに止める **2か所**



手順 9

排水導入管Bの取り付け

- 1 排水導入管Bを排水導入管Aへ差し込む
- 2 取付ナット、スリップワッシャ、パッキンを締め込み固定する

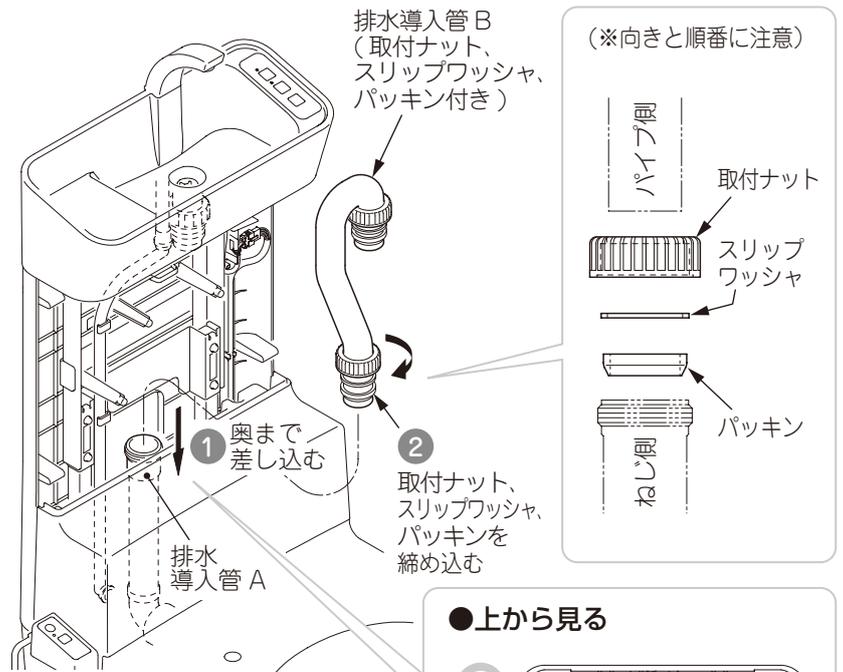
注意



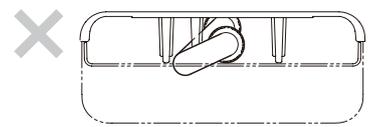
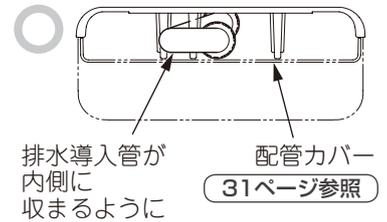
- スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む
水漏れの原因になります。

お願い

- 排水導入管が手洗いの内側に収まるように、横向きに取り付けてください。
手前に向くと、後工程で配管カバーを取り付けられなくなります。 **31ページ参照**



●上から見る



手順 10

排水導入管Cの取り付け

- 1 排水導入管Cを排水導入管Bおよび手洗いボール排水口に差し込み接続する
- 2 取付ナット、スリップワッシャ、パッキン **2か所** を締め込み、排水導入管Cを固定する

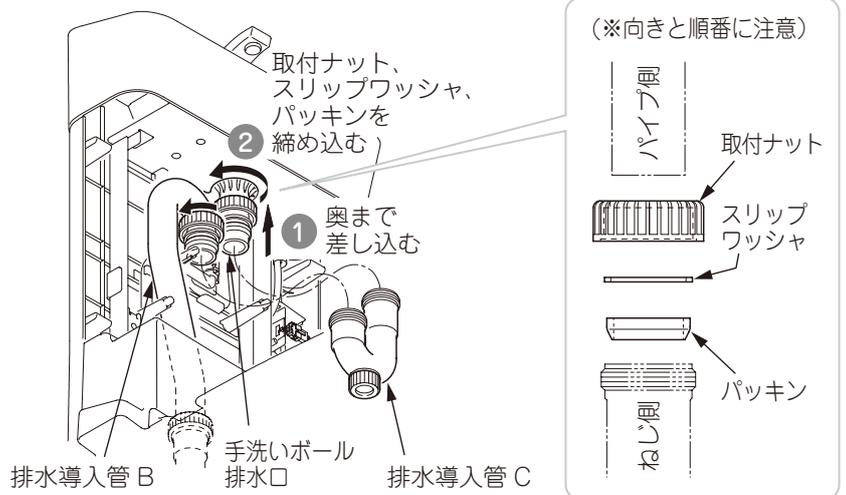
注意



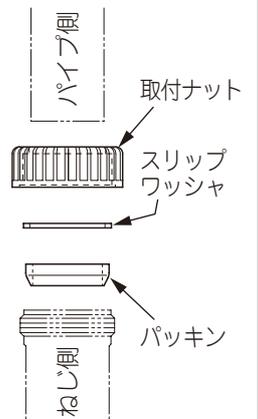
- スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む
水漏れの原因になります。

ポイント

- 配管カバーは後工程で取り付けます。
31ページ参照



(※向きと順番に注意)



標準タイプの取り付け

- 標準タイプの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。
- ここでは、手洗い無しのイラストで説明しています。

警告



禁止

- 分解や改造はしない
感電・火災・けがの原因になります。



必ず守る

- 必ず施工説明書に従って施工する
感電・火災・けがの原因になります。

手順 1

配管工事(止水栓の取り付け)

注意



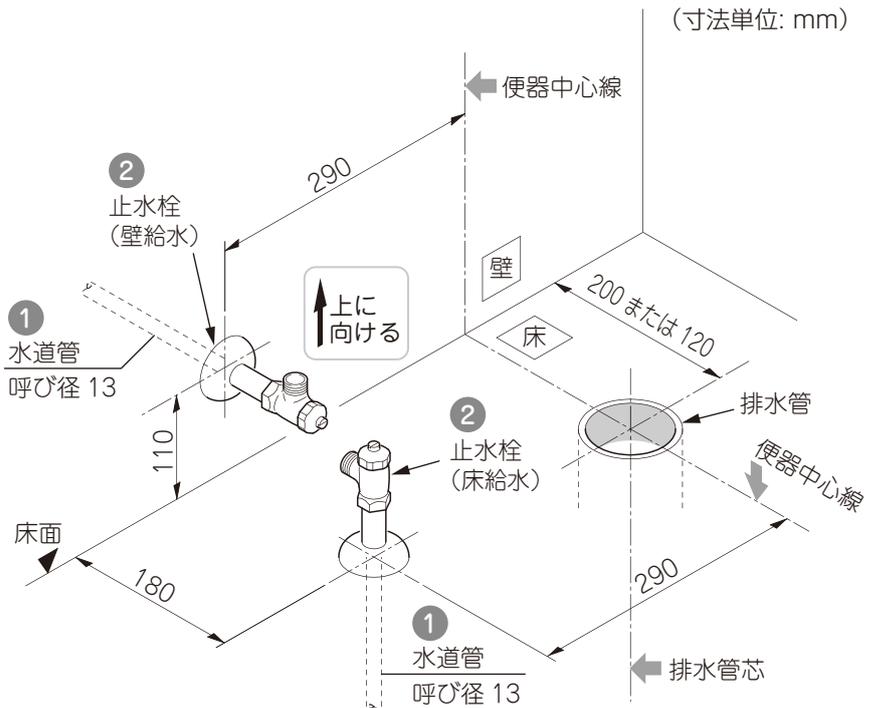
必ず守る

- 止水栓にがたつきがないことを確認する
水漏れの原因になります。

- 1 給水位置まで水道管を設置する
- 2 同梱の止水栓を取り付ける

お願い

- 必ず、同梱の止水栓を使用してください。
他の止水栓を使用すると、便器洗浄性能を損う原因になります。



手順 2

床工事

- 1 床面を水平に仕上げる

注意



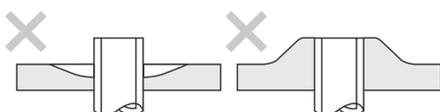
必ず守る

- 床面は、水平に施工する
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。

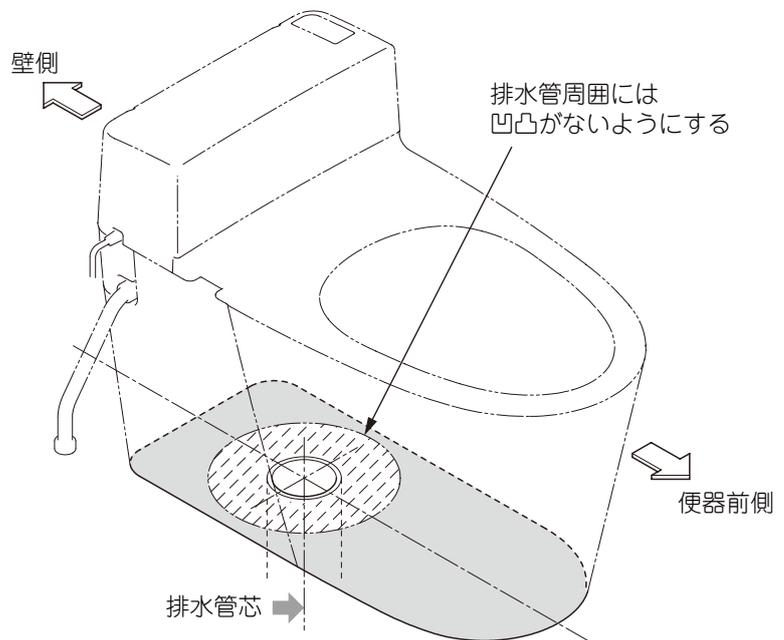
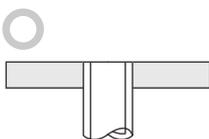
お願い

- 排水管周囲は、凹凸がないようにしてください。
施工不良の原因になります。

● 悪い施工例



● 良い施工例



手順 3

床フランジとリングの接着

注意



必ず守る

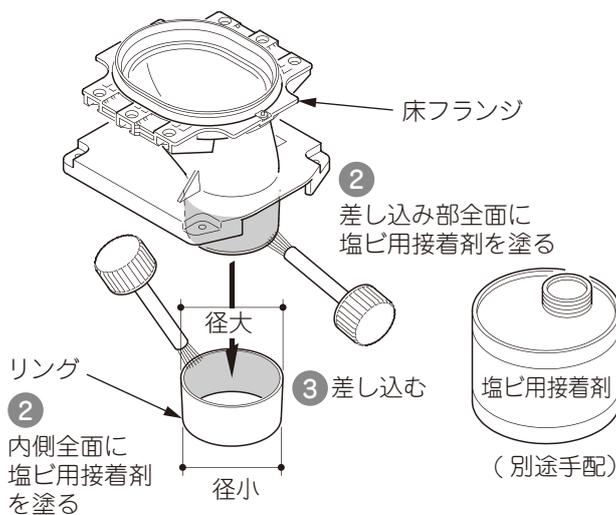
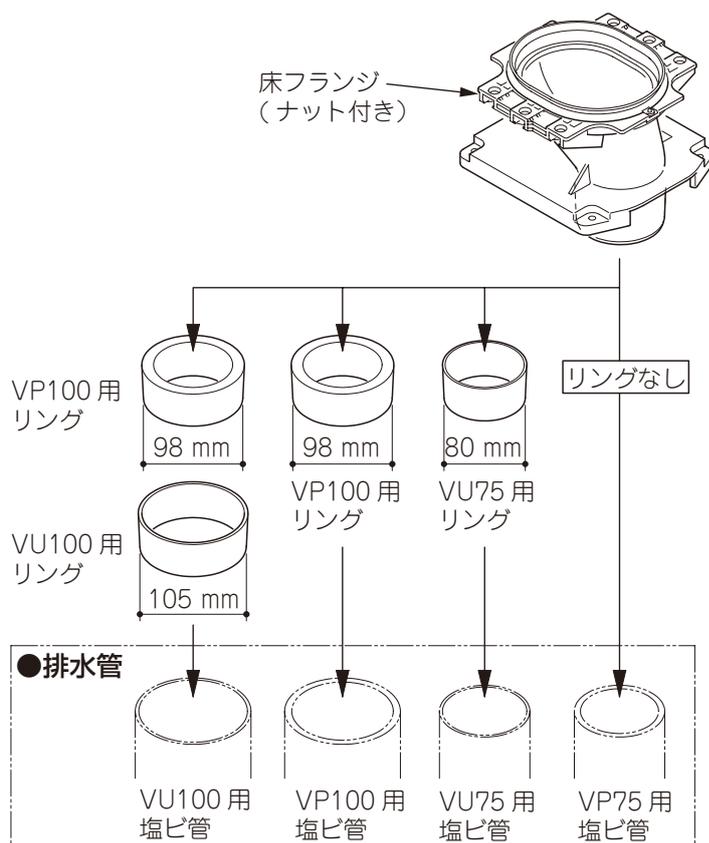
- リングとの接着は、排水管・リングの種類に適合、接着向きを正しく行う
- リングとの接着は、塩ビ用接着剤を接着面全面に塗り奥まで十分接着する
床フランジ部からの水漏れ、臭気もれの原因になります。

- 1 右図を参照して、排水管に適合するリングを選ぶ
(VP/VU100用リングは、床フランジに仮固定されています。)

使用しないリングについて

- 自治体の基準に従って破棄してください。

- 2 リング内側全面および床フランジ(ナット付き)の差し込み部全面に塩ビ用接着剤を塗る
(塩ビ用接着剤は別途手配ください。)
- 3 リングの径の小さい方を下側にし、床フランジをリングに差し込み接着する



手順 4

床フランジの取り付け

- 1 排水管と床面が面一であることを確認する
- 2 2階以上のトイレルームの場合は、排水管のまわりをシーリング防水する

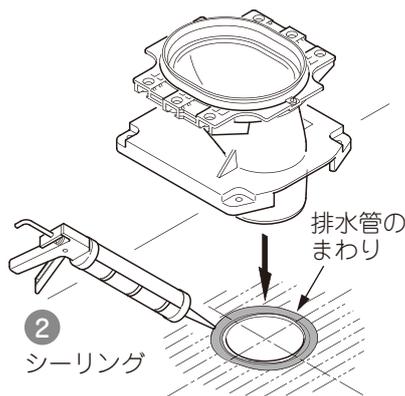
注意



必ず守る

- 2階以上のトイレルームに設置するときは、必ず排水管まわりにシーリングを行う
階下への水漏れのおそれがあります。

2階以上のトイレルームの場合



- 3 塩ビ用接着剤を排水管内側全面および床フランジの差し込み部全面に塗る
(塩ビ用接着剤は別途手配ください。)
- 4 床フランジを排水管に、床面にあたるまで差し込む

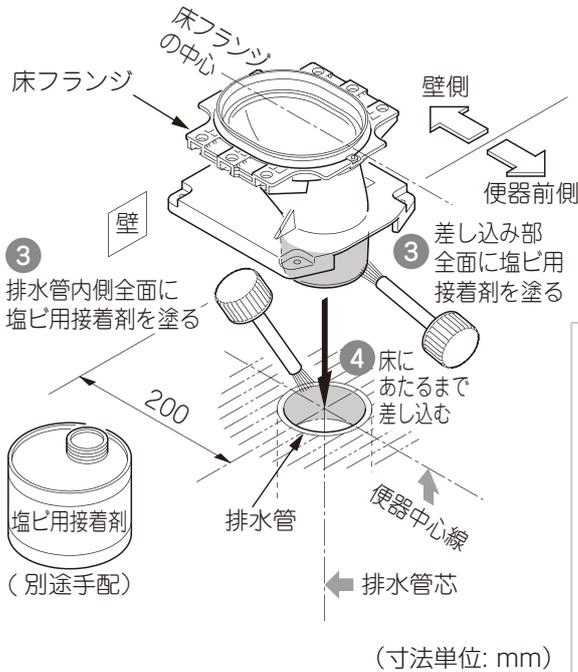
お願い

- 床フランジの中心を便器中心線に合わせてください。
- 排水管の壁からの位置により床フランジの向きが異なるので注意してください。図を参照して向きを確認してください。向きを間違えると正しく施工できなくなります。

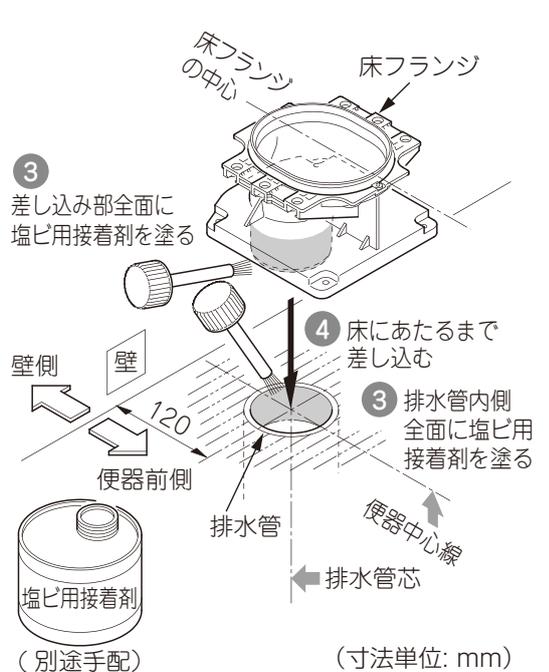
ポイント

- 床フランジのフランジ部が必ず床仕上げ面の上に乗るようにしてください。
- 床材がタイルの場合は、木栓またはPYプラグを使用してください。
- 床フランジのフランジ部下面がタイルに接するようにしてください。

● 排水管芯が壁から 200 mm の場合



● 排水管芯が壁から 120 mm の場合



- 5 床フランジをトラスタッピンねじ $\phi 5 \times 35$ mm で固定する 4か所

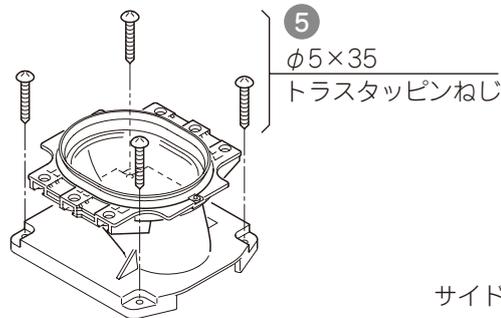
注意



● 床フランジを無理な力で固定しない、また、割れたまま使用しない
水漏れの原因になります。



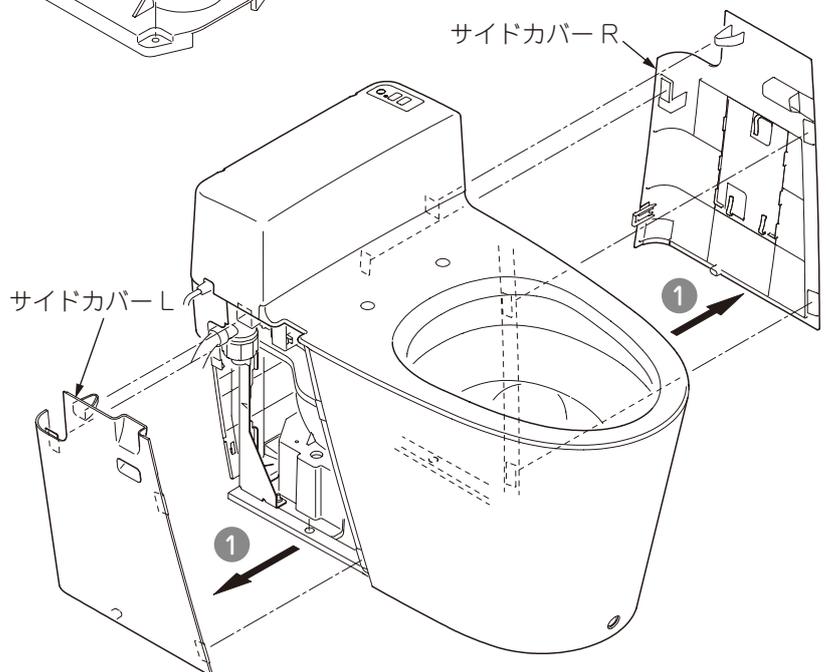
● 床フランジの床からの浮きがないようにしっかりと固定する
便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。



手順 5

サイドカバーの取り外し

- 1 サイドカバーの取っ手に手を掛けて引き、サイドカバーを取り外す



手順 6

便器の取り付け

ポイント

- ねじ固定前に下穴(φ3程度)を開けると作業しやすくなります。(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

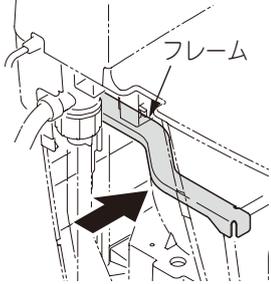
- 1 標準用型紙を床フランジの形状に合わせて置く

ポイント

- 便器の設置角度を正しくするために型紙の便器中心線と側面の壁が平行になるように置いてください。

- 2 床固定位置にφ3 mmの下穴を開ける **2か所**
- 3 固定片を標準用型紙の切り欠き部にはめ、トラスタッピンねじ φ5×35 mm で固定する **2か所**
- 4 標準用型紙を破って取り外す
- 5 床フランジの上部にパッキンおよびナットがきちんと取り付けられているか確認する
- 6 便器を床フランジに六角ボルト M8×30 mm と平座金 8.5×22×1.5 mm で固定する **2か所**
- 7 便器を床にアプセットタッピンねじ φ6×45 mm と平座金 6×16×1.0 mm で固定する **2か所**
- 8 便器前方を固定片になべタッピンねじ φ5×60 mm で固定する **1か所**
- 9 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして便器前方にはめ込む

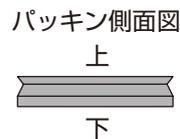
ポイント

- 便器を持つときはこのフレームに両側から手を掛けて持ち上げてください。
- 
- 便器と床のすき間がなくなるまでアプセットタッピンねじを締めつけてください。
 - 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。サイドカバーが取り付けしづらい事があります。
 - 固定片の取付ねじは破損しないようゆっくりと締めつけてください。

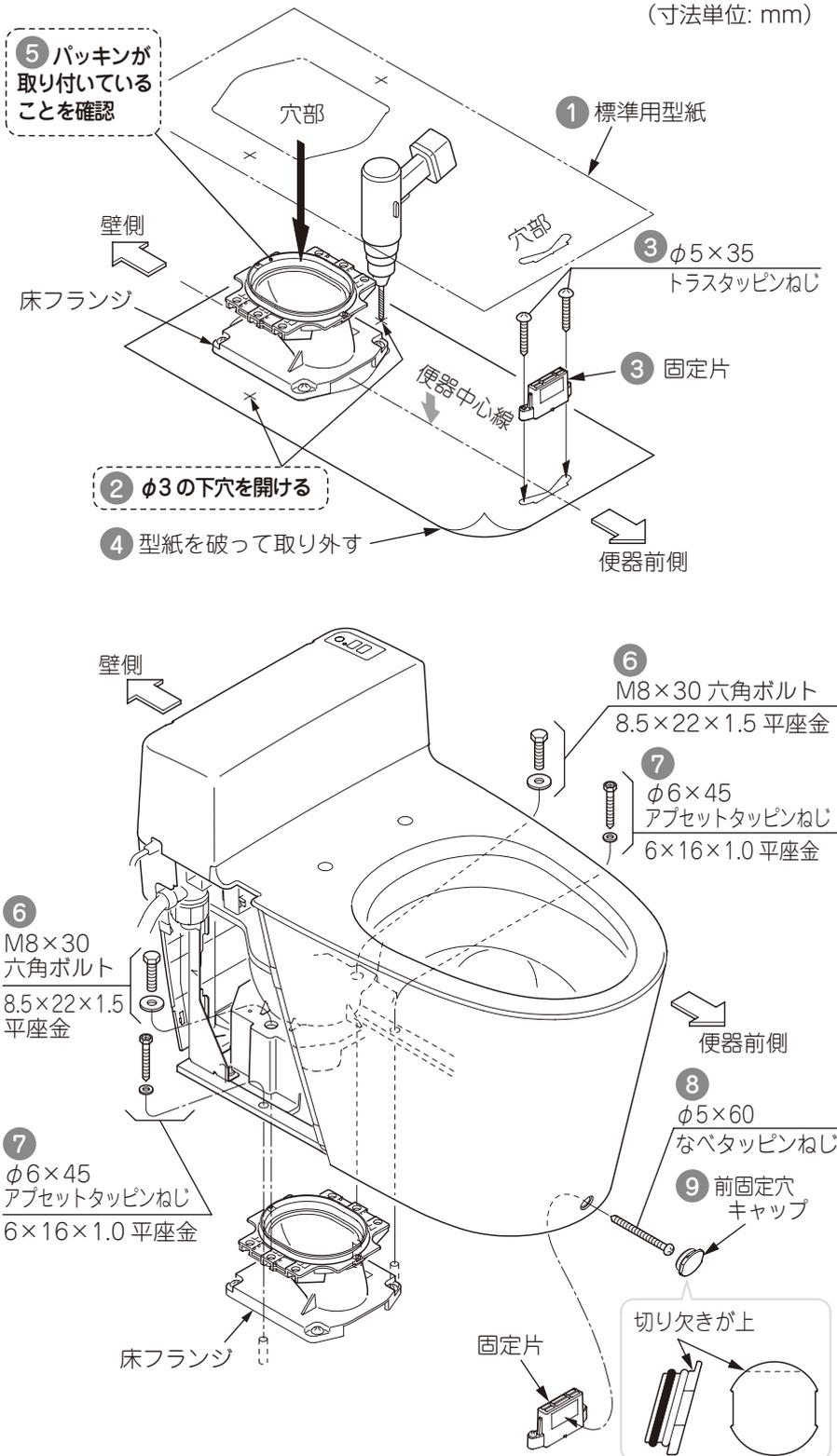
注意



- パッキンの上下の向きを確認する
水漏れの原因となります。



(寸法単位: mm)



R

リフォームタイプの取り付け

- リフォームタイプの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

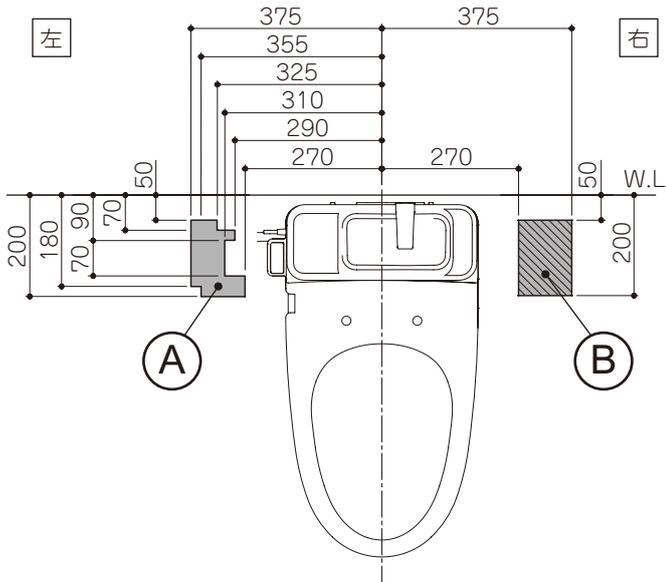
手順 1

給水位置の確認

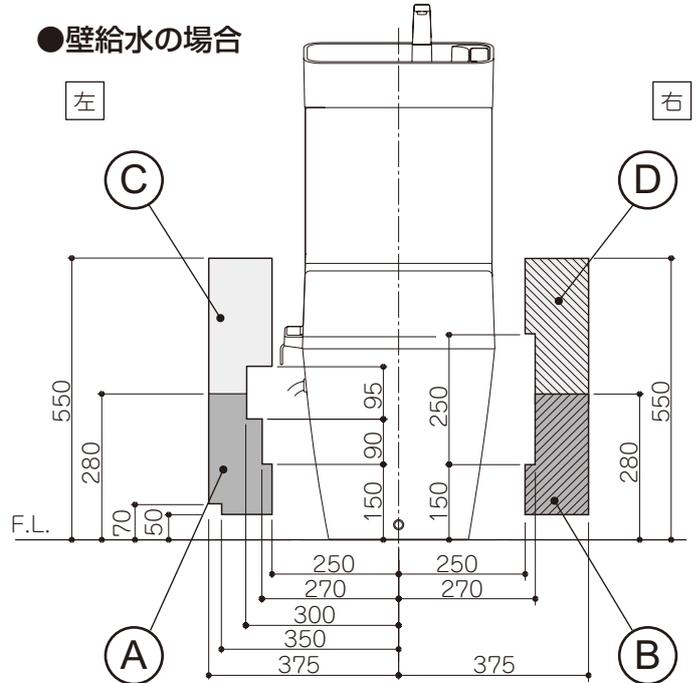
① 既設給水位置が下図の給水可能範囲内にあることを確認する

(寸法単位: mm)

●床給水の場合



●壁給水の場合



記号	説明	記号	説明
Ⓐ	付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の左設置は可能です。	Ⓒ	付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の左設置はできません。
Ⓑ	オプションの延長給水ホース(長さ1 m、品番: CH100R01)を使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の右設置は可能です。	Ⓓ	オプションの延長給水ホース(長さ1 m、品番: CH100R01)を使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の右設置はできません。

※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース(CH100R02)では長さが足りません。

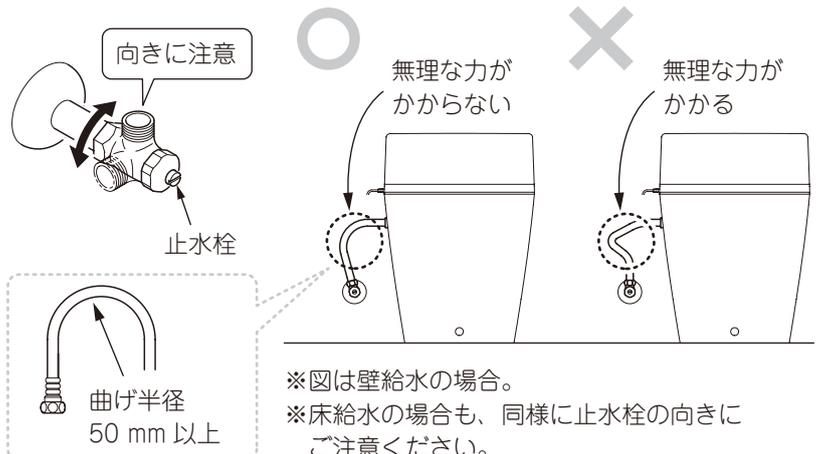
手順 2

止水栓の取り付け

① 水道の元栓を閉め、既設給水位置に止水栓を取り付ける

お願い

- 必ず、同梱の止水栓を使用してください。他の止水栓を使用すると、便器洗浄性能を損う原因になります。
- 止水栓の向きに注意し、給水ホースがねじれたり折れたりしないよう、注意して取り付けてください。



※図は壁給水の場合。

※床給水の場合も、同様に止水栓の向きにご注意ください。

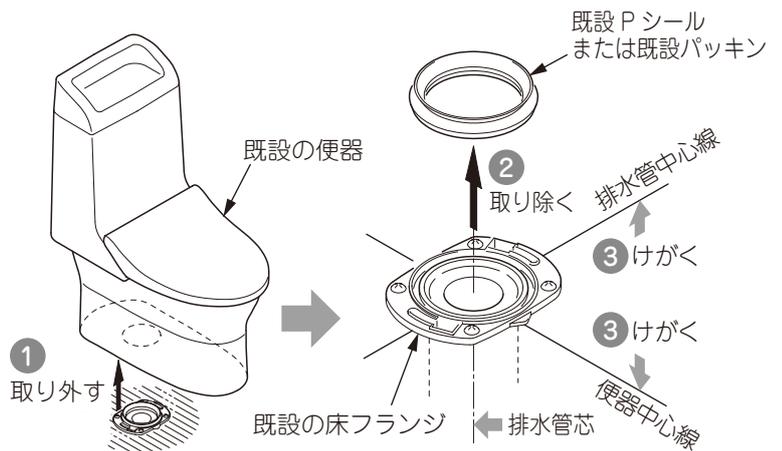
手順 3

既設便器の取り外し

- ① 既設の便器を取り外す
- ② 既設Pシールまたは既設パッキンをきれいに取り除く
- ③ 便器と排水管の中心線を床にけがく

ポイント

- 下記の場合は、アラウーノリフォーム用既設床フランジ [CH120FR01] を別途ご用意ください。
 - ① 既設の便器が床フランジを用いないタイプの場合
 - ② 既設の便器がPシールを用いないタイプの場合
 - ③ 床フランジの損傷が激しい場合



手順 4

床アジャスタの切断

※排水芯470 mmの場合も、床アジャスタの切断が必要です。

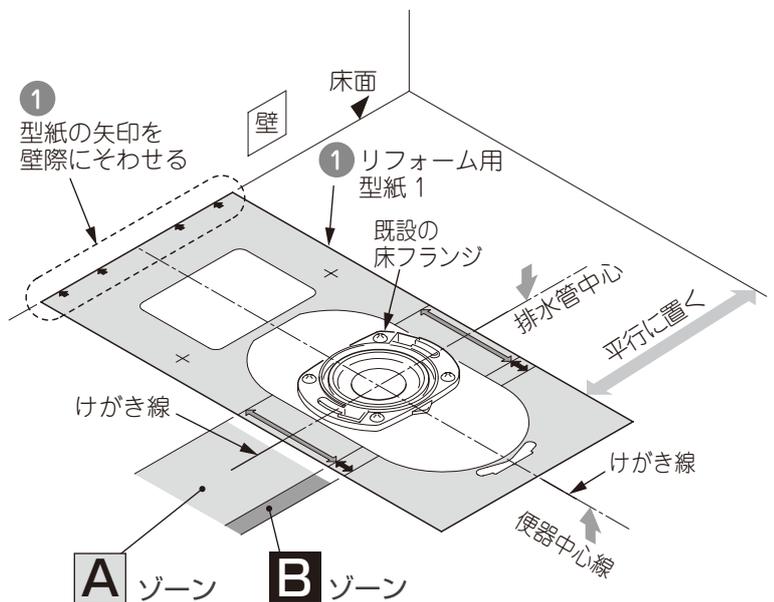
- ① リフォーム用型紙1を壁際に合わせて置き、排水芯の位置を確認する

お願い

- 排水芯位置がAゾーン・Bゾーンのどちらに該当するか必ず確認してください。排水芯位置によって、施工方法が異なります。

ポイント

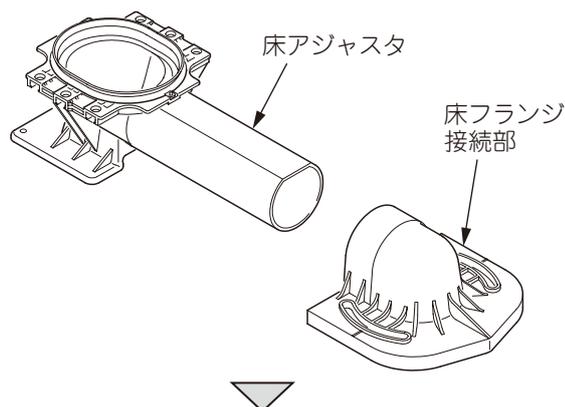
- 排水芯が470 mmより大きい場合は、型紙の排水対応範囲に既設の床フランジが入るように型紙を置いてください。
- 専用手洗いユニットの10 cm前出しタイプと併設する場合は、壁から100 mm離してください。



排水芯位置によって施工方法が異なります。

けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

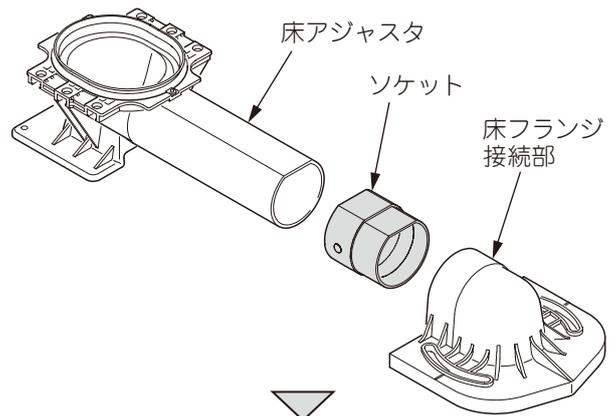
下記の2種類の部品を接続します。



次ページの **A** を参照し、施工してください。

けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

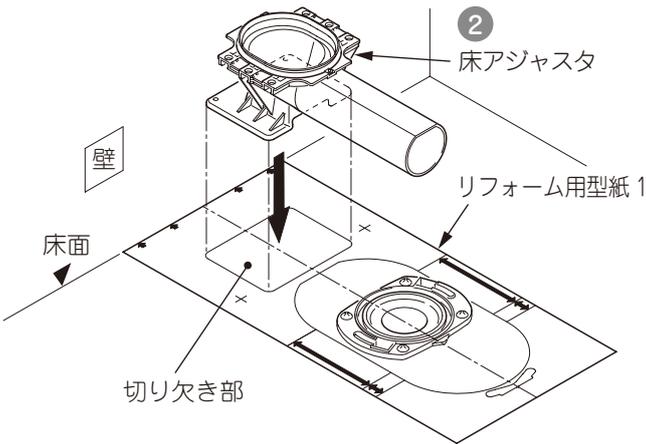
下記の3種類の部品を接続します。



次ページの **B** を参照し、施工してください。

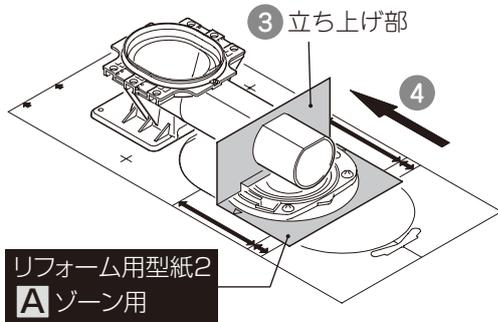
けがき線が型紙1の **A** ゾーンの場合

2 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする



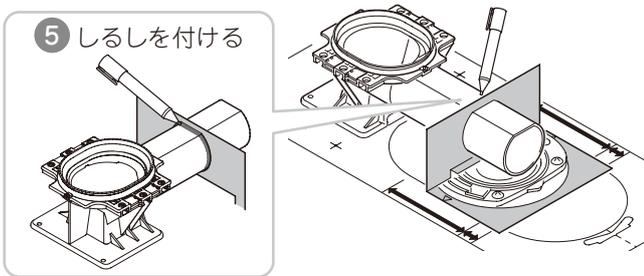
3 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

4 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Aゾーン用)を差し込み、既設の床フランジに合わせて設置する

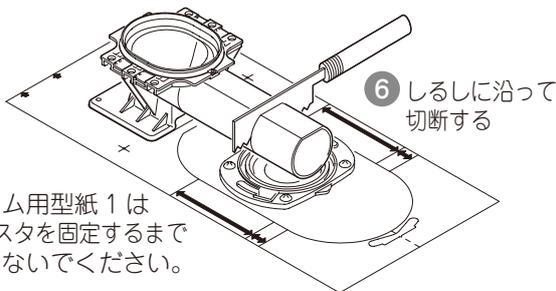


リフォーム用型紙2
A ゾーン用

5 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



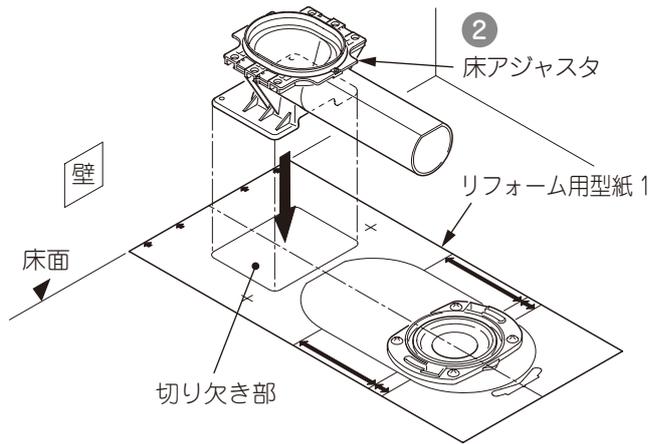
6 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を取り外すしるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

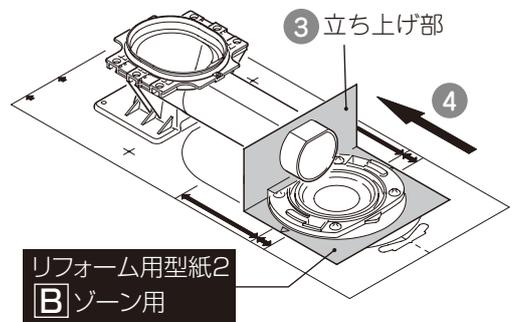
けがき線が型紙1の **B** ゾーンの場合

2 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする



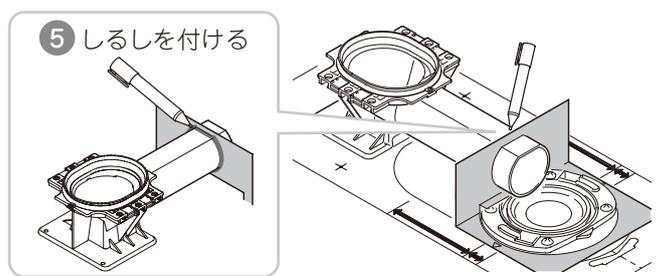
3 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

4 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Bゾーン用)を差し込み、既設の床フランジに合わせて設置する

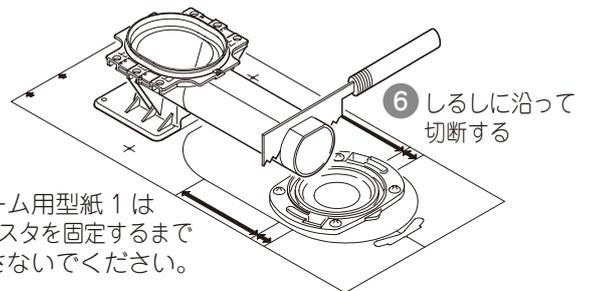


リフォーム用型紙2
B ゾーン用

5 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



6 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を取り外すしるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

リフォームタイプ

注意



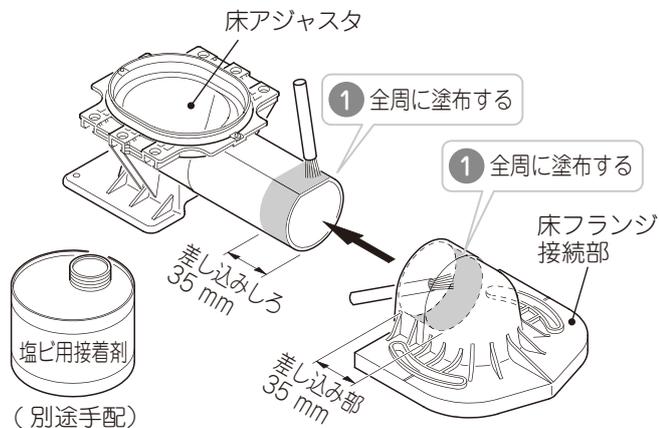
●床アジャスタを切断後は、端部のバリ、汚れを完全に除去
バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

手順 5

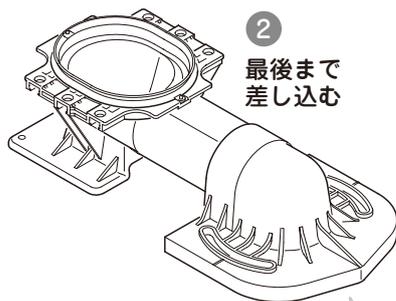
排水アジャスタの組み立て

けがき線が型紙1の **A** ゾーンの場合

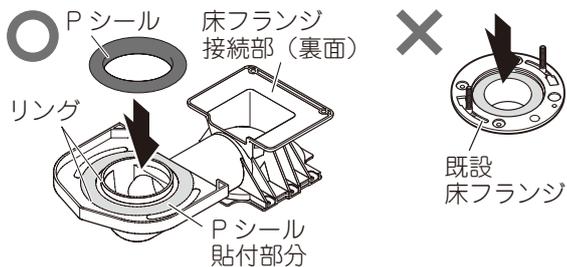
- ① 床フランジ接続部の差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗布する



- ② 床アジャスタを床フランジ接続部に差し込む
③ Pシールを床フランジ接続部裏側にセットする



- ③ Pシールは、必ず2本のリング線の間に取り付ける。
はりつけが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗淨不良の原因となります。

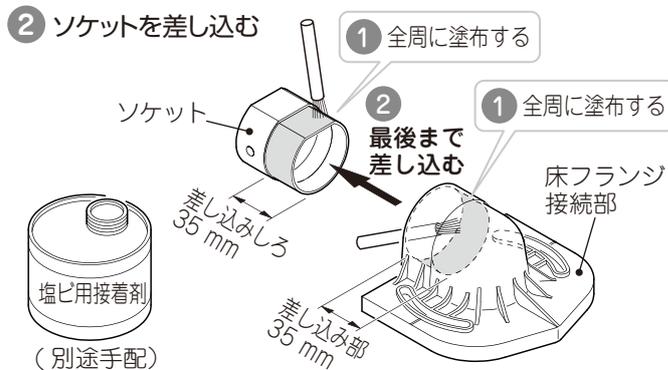


排水アジャスタ側に付ける

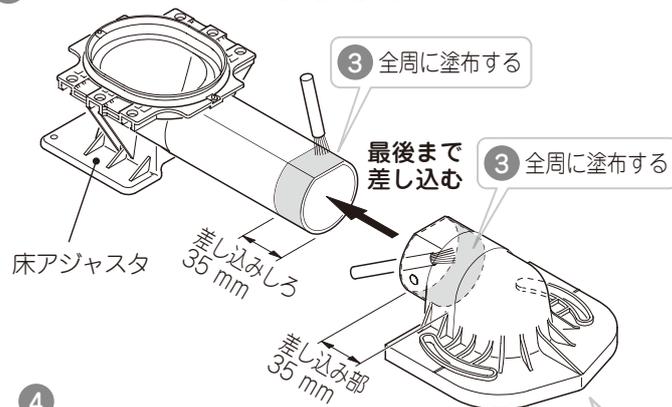
床フランジ側に付けない

けがき線が型紙1の **B** ゾーンの場合

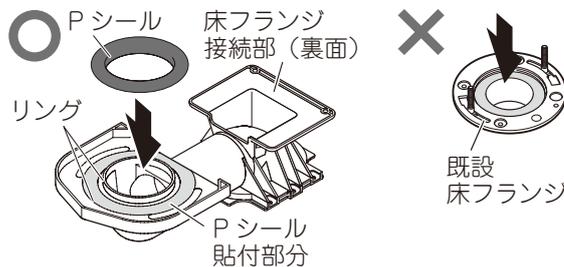
- ① 床フランジ接続部の差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗る



- ③ ソケット差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用の接着剤を塗り、組み立てる
④ Pシールを床フランジ接続部裏側にセットする



- ④ Pシールは、必ず2本のリング線の間に取り付ける。
はりつけが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗淨不良の原因となります。



排水アジャスタ側に付ける

床フランジ側に付けない

⚠ 注意



禁止

Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない
排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。



必ず守る

- 排水アジャスタの接着は、接着面全面に塩ビ管用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に押し込んで接着する
施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。
- Pシールは2本のリング線の間に入るよう、押し広げながら貼り付ける
シール不良による水漏れの原因になります。また、Pシールが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み、排水不良になります。

手順 6

排水アジャスタの取り付け

ポイント

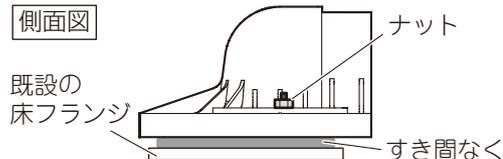
- ねじ固定前に下穴(φ3程度)を開けると作業しやすくなります。(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

- 1 リフォーム用型紙1の床固定位置にφ3の下穴を開ける **2か所**
- 2 既設の床フランジにT型ボルト M8×50 mm を取り付ける **2か所**
- 3 リフォーム用型紙1の切り欠き部に合わせて排水アジャスタを設置し、トラスタッピンねじ φ5×35 mm で固定する **2か所**
- 4 床フランジ接続部の上からナット M8 と平座金 8.5×22×1.5 mm で締めつける **2か所**

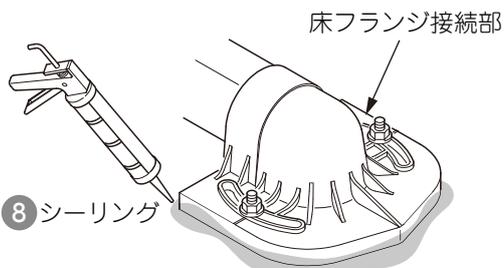
ポイント

- 床フランジ接続部が床から浮かないように、上からナットですき間がなくなるまで締めつけてください。

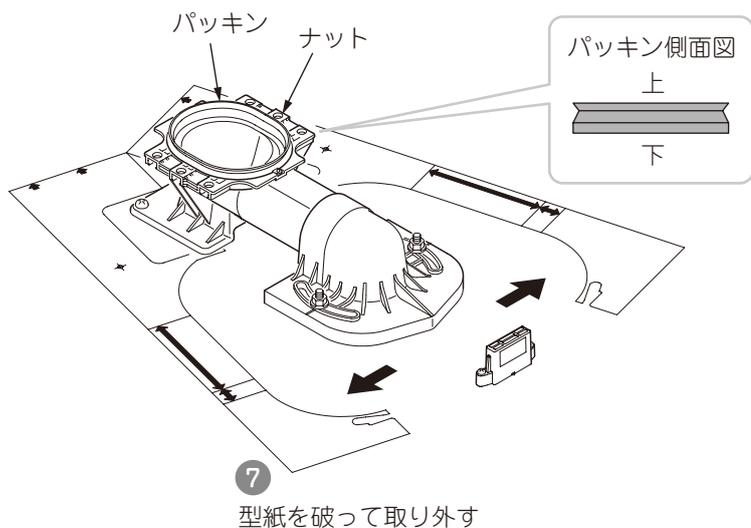
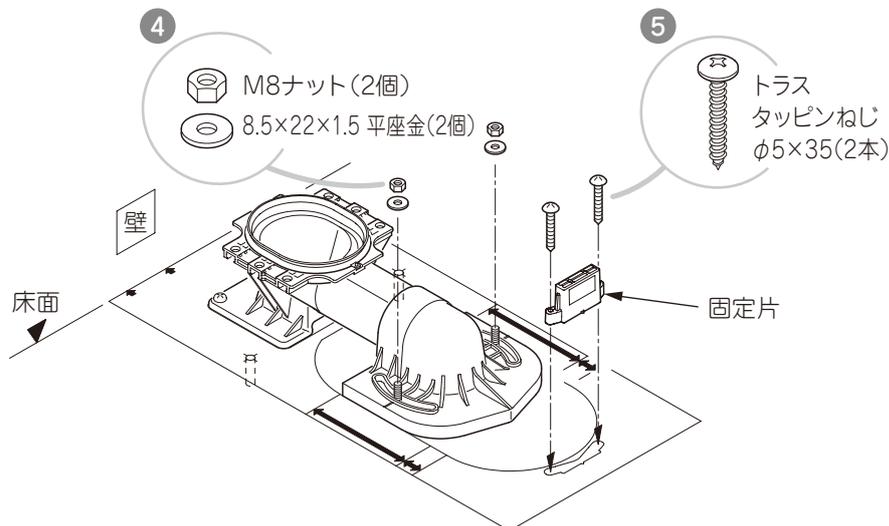
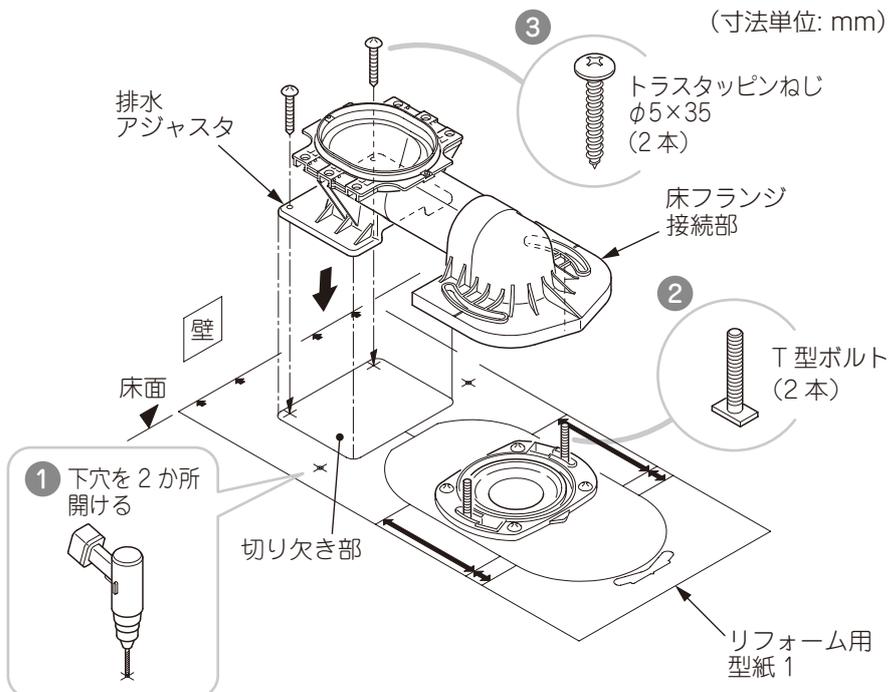
側面図



- 5 固定片をリフォーム用型紙1の切り欠き部にはめ、トラスタッピンねじ φ5×35 mm で固定する **2か所**
- 6 排水アジャスタの上部にパッキンが正しく取り付けられていることを確認する
※ 向かって右側に給水位置がある場合は、便器を設置する前に延長給水ホースを壁にそって仮置きしてください。
- 7 リフォーム用型紙1を破って取り外す
- 8 2階以上のトイレルームの場合は、床フランジ接続部のまわりをシーリング防水する



(寸法単位: mm)



⚠ 注意



排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジ接続部のナット(2か所)をしっかりと締めつける
水漏れの原因になります。



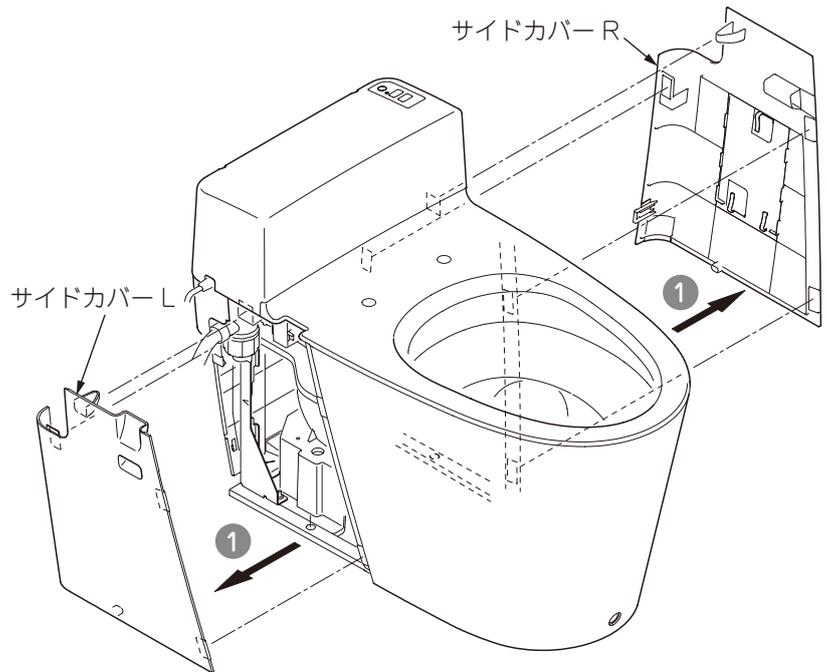
パッキンの上下の向きを確認する
水漏れの原因になります。

リフォームタイプ

手順 7

サイドカバーの取り外し

- ① サイドカバーの取っ手に手を掛けて引き、サイドカバーを取り外す



手順 8

便器の取り付け

- ① 延長給水ホース(オプション)を使用する場合、延長給水ホースを壁に沿って仮置きする
(19・25ページ参照)

- ② 便器を排水アジャスタに六角ボルト M8×30 mm と平座金 8.5×18×1.2 mm で固定する 2か所

- ③ 便器を床にアプセットタッピンねじ φ6×45 mm と平座金 6×16×1.0 mm で固定する 2か所

- ④ 便器前方を固定片になべタッピンねじ φ5×60 mm で固定する 1か所

- ⑤ 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして便器前方にはめ込む



禁止

警告

- 便器を取り付けるとき、電源コードをはさみ込まない
火災や感電の原因になります。

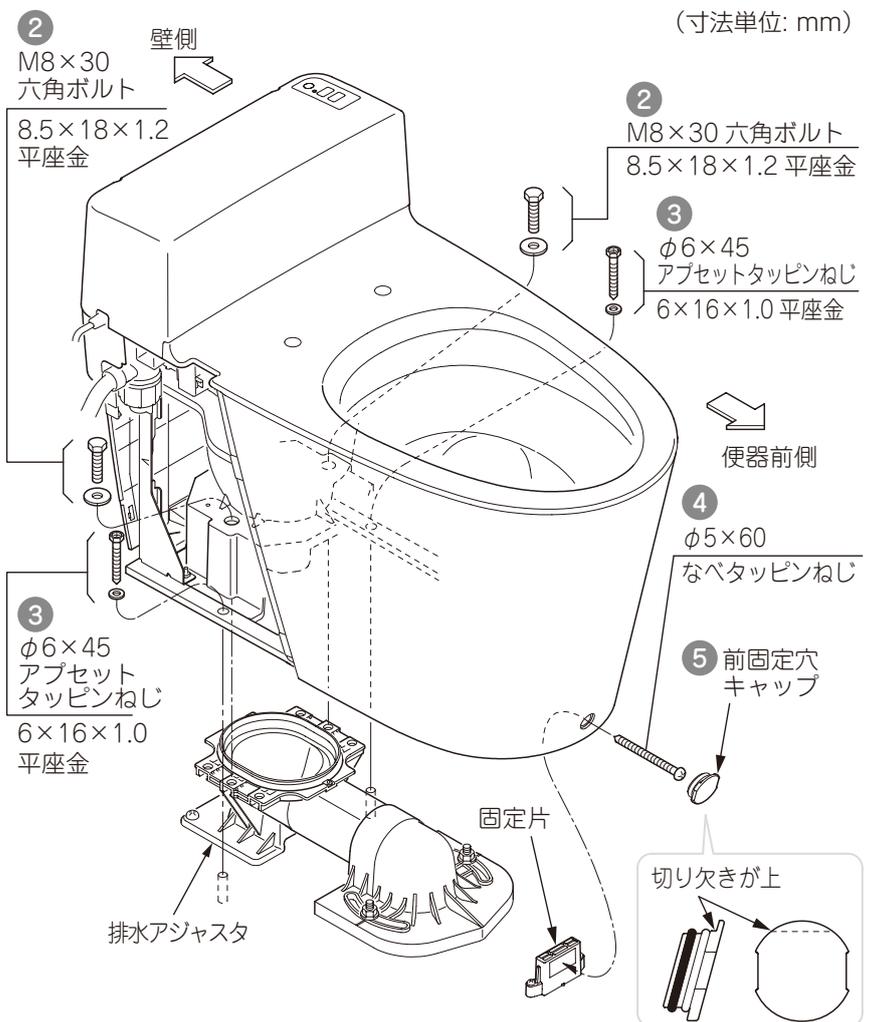
注意



必ず守る

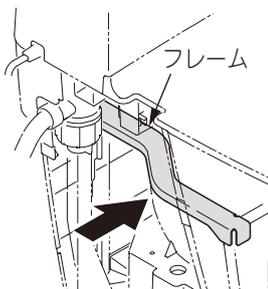
- 便器ががたつきがないことを確認する
水漏れの原因になります。

(寸法単位: mm)



ポイント

- 便器を持つときはこのフレームに両側から手を掛けて持ち上げてください。
- 便器と床のすき間がなくなるまでアプセットタッピンねじを締めつけてください。
- 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。サイドカバーが取り付けづらい事があります。
- 固定片の取付ねじは破損しないようゆっくりと締めつけてください。



共通の施工手順

● 全てのタイプで参照してください。

手順 1

止水栓への接続

注意

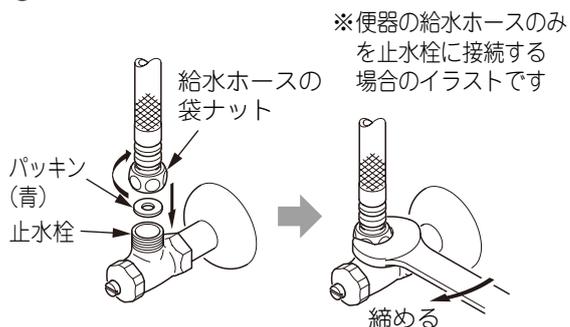


必ず守る

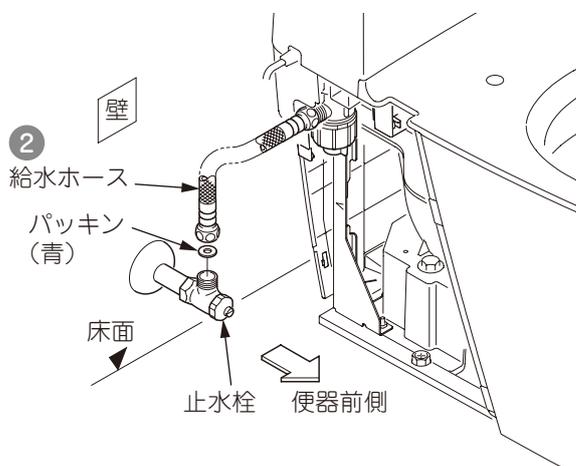
- 止水栓にがたつきがないことを確認する
水漏れの原因になります。

- 1 別売の温水洗浄便座や「アラウーノ専用手洗い」を併設する場合は、付属の説明書に従って分岐金具を取り付ける
- 2 便器の給水ホースを止水栓に接続する

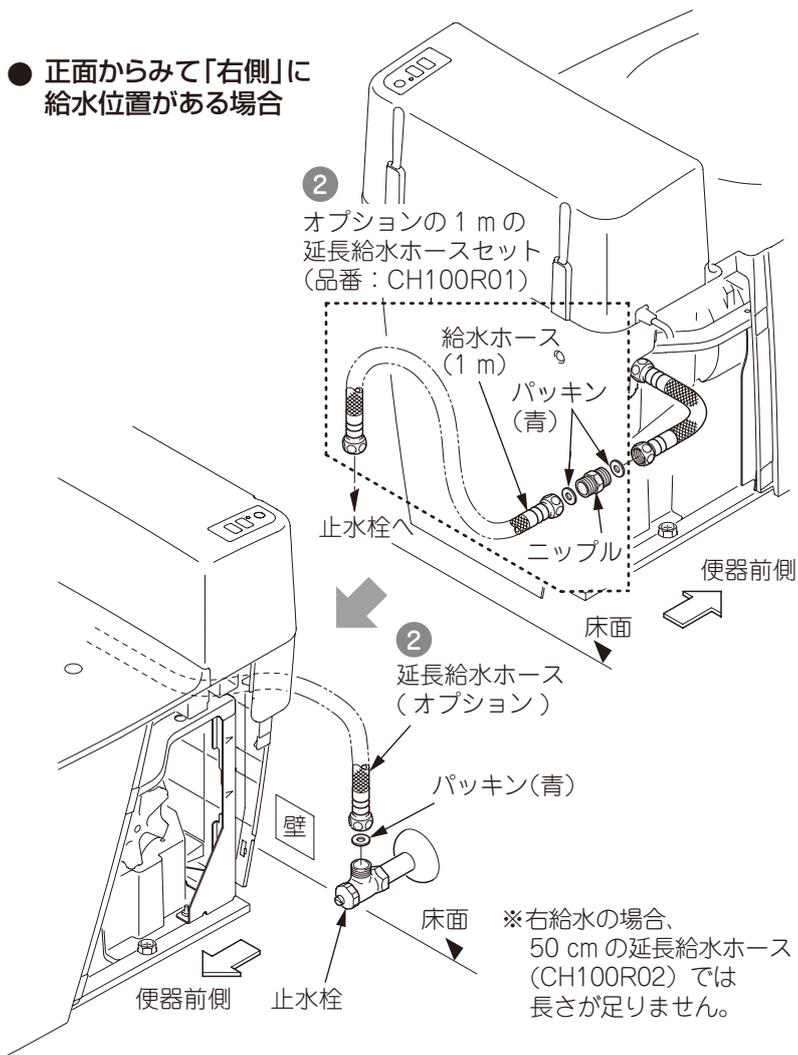
● 接続部詳細図



● 正面から見て「左側」に給水位置がある場合



● 正面からみて「右側」に給水位置がある場合



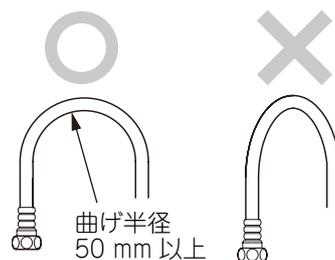
リフォームタイプをお願い

- リフォームタイプの場合は、既設給水位置が給水可能範囲にあるか確認してください。正しく施工できなくなります。

19ページ参照

お願い

- 給水ホースのねじれや折れがないことを確認してください。便器洗浄水量が不足する原因になります。

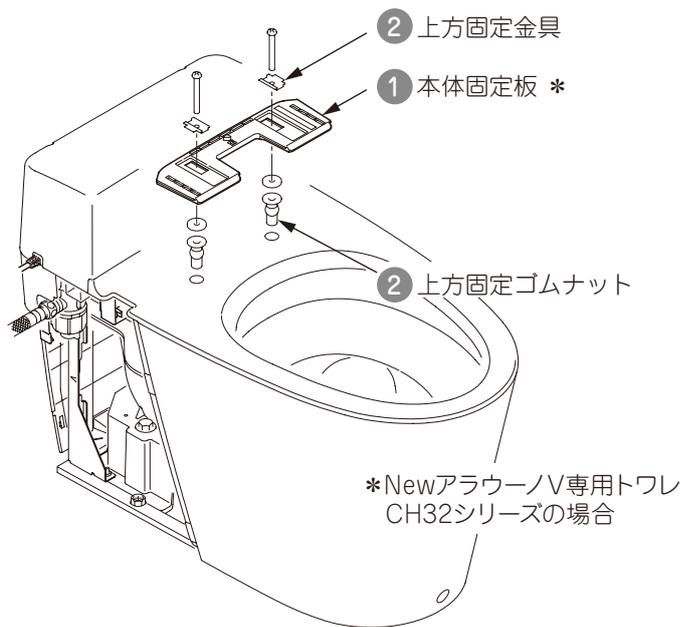


手順 2

便座の取り付け

お願い

- 当社「ビューティ・トワレ」CH320およびCH31・CH80・CH81・CH92シリーズには必ずゴムスペーサーを取り付けてください。CH32シリーズにはゴムスペーサーは必要ありません。(詳細はトワレ側の施工説明書をご確認ください。)
- ゴムスペーサー・本体固定板はしっかり締め付けてください。締め付けが弱いと本体ががたつくおそれがあります。



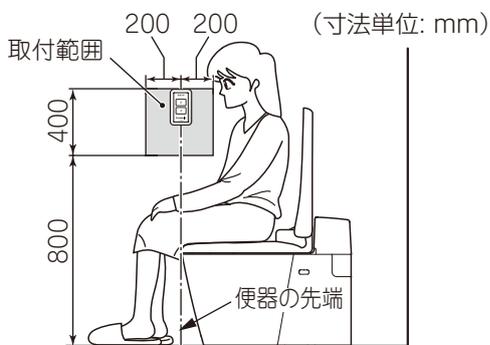
手順 3

リモコンホルダーの取り付け (オプション)

1 リモコンホルダーの取り付け位置を確認する

リモコンホルダーの取付位置

- お客様と相談の上、便座に座った状態で使いやすい位置に取り付けてください。

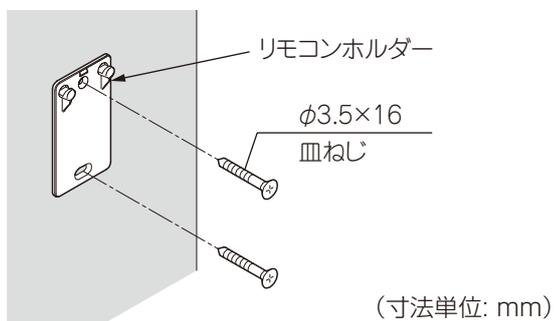


お願い

- 取り付け前に必ずリモコンの信号が受光できることを確認してください。
- 壁紙や天井が黒色や濃い色の場合、リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。
- 同室で2台以上並べて設置される場合、隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(有料)
- リモコンからの信号は、天井および壁からの反射光を便器に受光しますので、リモコンや便器受光部の上部に棚やカウンター・温水洗浄便座のリモコンなどを設置しないでください。
- 次のような場合、リモコンが作動しにくい場合があります。
【直射日光がリモコン受光部・発光部に当たっている場合】
 直射日光をカーテンなどで遮断してください。
【インバータ照明など特定の照明をご使用の場合】
 照明を消すと正常に動作する場合は、照明器具の交換をご検討ください。

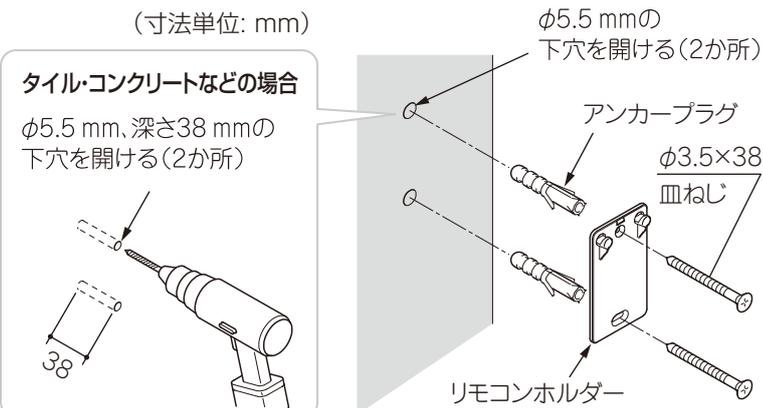
厚み5 mm以上の壁、柱などに取り付ける場合

- 2 リモコンホルダーを壁にあて、取付穴の目印をつける (2か所)
- 3 リモコンホルダーを皿ねじ $\phi 3.5 \times 16$ mm で取り付ける



厚み5 mm未満の中空壁、タイル・コンクリートなどに取り付ける場合

- 2 リモコンホルダーを壁にあて、取付穴の目印をつける (2か所)
- 3 壁の種類別の取付方法でリモコンホルダーを取り付ける



手順 4

リモコンの取り付け (オプション)

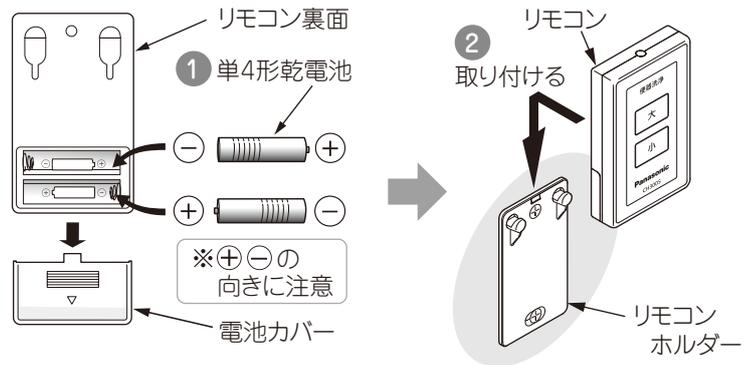
- 1 単4形乾電池をリモコンに入れる
- 2 リモコンをリモコンホルダーに差し込む

注意



必ず守る

- 電池の ⊕、⊖ を正しく入れる
取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。



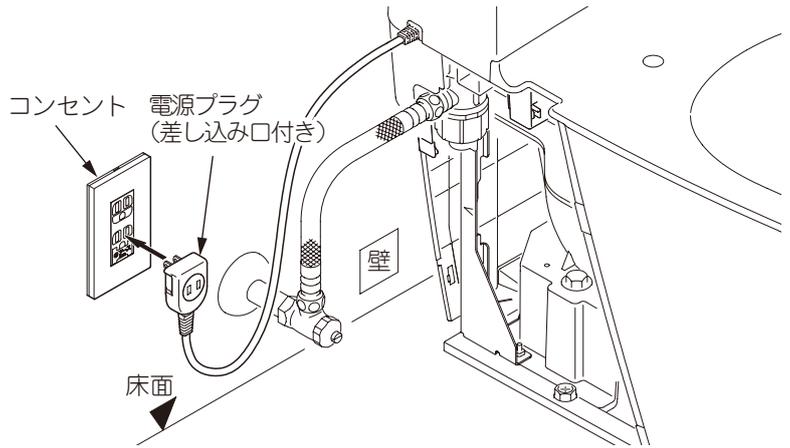
手順 5

電源プラグの差し込み

- 1 水道の元栓を開ける
- 2 電源プラグ(差し込み口付き)をコンセントに差し込む

寒冷地仕様の場合

- 凍結のおそれがある場合は、凍結防止ヒーターの電源プラグもコンセントに差し込んでください。



手順 6

試運転と水漏れの確認

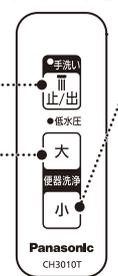
- 1 止水栓を開く
- 2 便器洗浄[大]ボタンを押し、通水する
- 3 右図を参照し、止水栓および各部から水漏れがないことを確認する
- 4 各操作ボタンを押し、動作を確認する

- 通水経路に空気が残っている場合、便器洗浄後に手洗い吐水口から水が出ることがありますが故障ではありません。何度か通水すると止まります。

4 試運転

手洗い吐水口から吐水します
小洗浄を行います

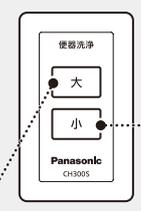
手洗い付き



大洗浄を行います



リモコン (オプション)



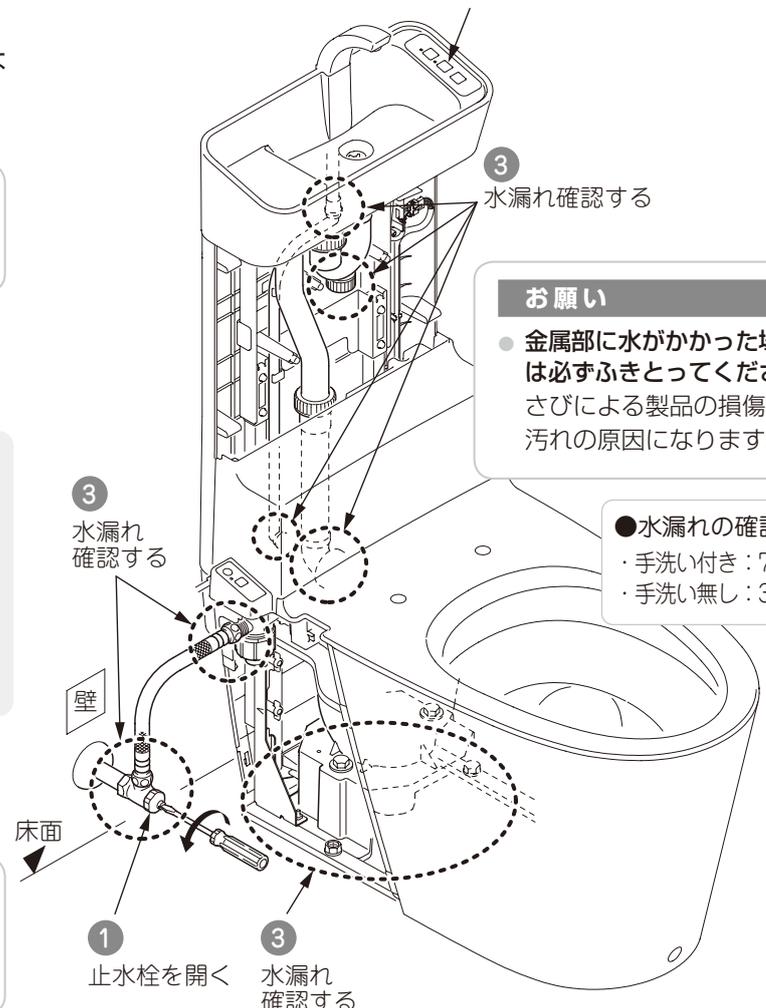
- 2 便器洗浄 [大] ボタンを押す

- 3 水漏れ確認する

お願い

- 金属部に水がかかった場合は必ずふきとってください。さびによる製品の損傷や汚れの原因になります。

- 水漏れの確認
・手洗い付き：7か所
・手洗い無し：3か所



「手洗い付き」でボタンを押しても水が出ない場合

- 手洗いコネクタが接続されているか確認してください。 **12ページ参照**

低水圧地域の場合

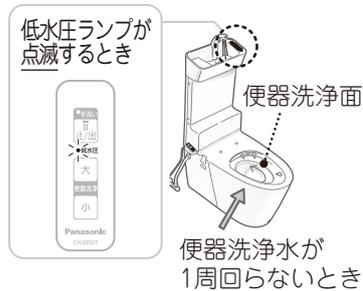
手洗い吐水と便器洗浄のタイミングの変更 (手洗い付きの場合)

出荷時は「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」になっています。止水栓が全開になっていることをご確認のうえ、下記の場合は、「手洗い吐水後に便器洗浄をする設定」に変更してください。

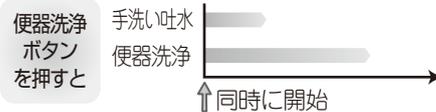
- 便器洗浄水の勢いが弱く、便器洗浄水が1周回らないとき
- 低水圧ランプが点滅するとき

・設定しないと十分な洗浄水量が得られないため、便やトイレットペーパーが便器洗浄面に残ったり、排水管が詰まることがあります。

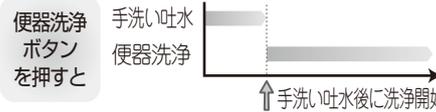
・設定を変更しても便器洗浄水が1周回らないときは水圧が不足しています。水圧をご確認ください。



便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定



手洗い吐水後に便器洗浄をする設定



① [便器水位]ボタンを5秒以上押し続け、設定変更モードにする

- [便器水位]ボタンを押すと「ピ」と音がします。そのままボタンを5秒以上押し続けると、「ピピ」と音がして、電源ランプが点滅し、設定変更モードになります。

[便器水位]ボタンを押すと、機能上 便器の水位が約3 cm下がります。異常ではありません。

② 手順①の後、10秒以内に便器洗浄[小]ボタンを押す

- 「ピ」と音がして、低水圧ランプが点灯し、「手洗い吐水後に便器洗浄する設定」に変更されます。

10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。その場合は、便器洗浄ボタンを押して一度便器洗浄をした後、再び手順1からやり直してください。便器洗浄をしないと設定変更できません。リモコン(オプション)の[小]ボタンでは設定できません。

③ 設定を変更後、約10秒待つ、または[便器水位]ボタンを押す

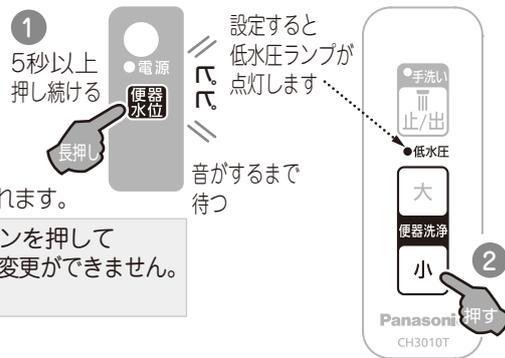
- 「ピー」と音がして、電源ランプが点灯に変わり、通常動作に戻ります。

通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。また便器水位を下げるできません。

通常動作に戻ってからも便器の水位は約3 cm下がった状態です。便器洗浄ボタンを押す、または20分経過すると便器洗浄を行い、元の水位に戻ります。

④ 元に戻したい場合は、再び①～③と同じ手順を行う

- 「ピー」と音がして、「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」に変更され、低水圧ランプが消灯します。



手順 7

便器洗浄水量の調節 (市町村指定の場合)

お願い

- 一部の地域では、使用条件が決められています。各行政機関の指示に従って設定してください。

■モード一覧表 (流動時:0.2 MPaの時)

モード	大洗浄	小洗浄
標準モード(出荷時)	4.6 L	3 L
増量モード1	5.7 L	3 L
増量モード2	8 L	3 L

① 電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上待つ

② [便器水位]ボタンを押しながら電源プラグをコンセントに差し込み、「ピピ」と音がするまでボタンを押し続ける

③ 手順②の後、10秒以内に便器洗浄[大]ボタンを押して、洗浄水量を設定する

10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。再びははじめからやり直してください。

④ 設定を変更後、約10秒間待つ

- 通常動作に戻ります。

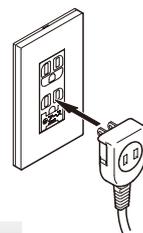
通常動作に戻ります。通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。また便器水位を下げるできません。

●手洗い付き



②

便器水位ボタンを押しながら電源プラグを差し込む



●手洗い無し



② 「ピピ」と音がするまで押し続ける

モードを設定する

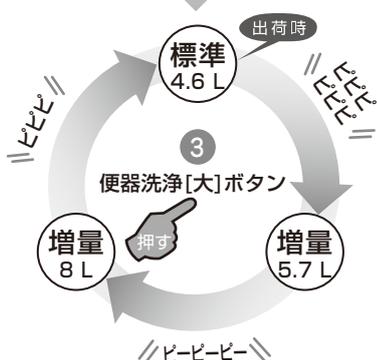
② 「ピピ」と音がするまで押し続ける

●手洗い付き



③

便器洗浄[大]ボタンを押す



●手洗い無し



「ピーピー」

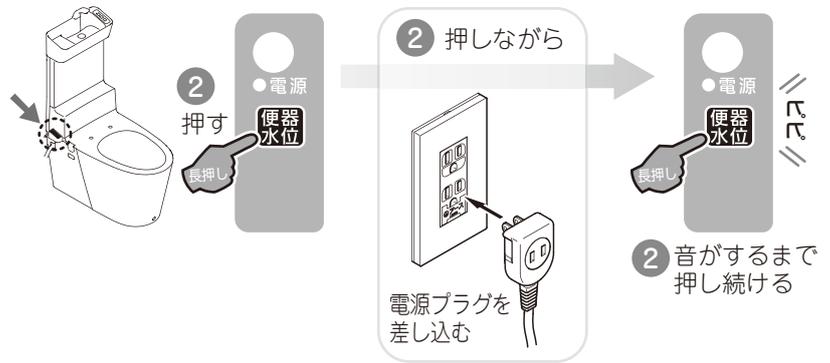
水栓数の変更 (手洗い付きの場合)

・水道料金の算出にあたり、水栓数の変更が有効となる場合に設定してください。

一部の市町村において、本製品の水栓数のカウントは2栓となりますが、下記の設定により、1栓とカウントされる場合があります。

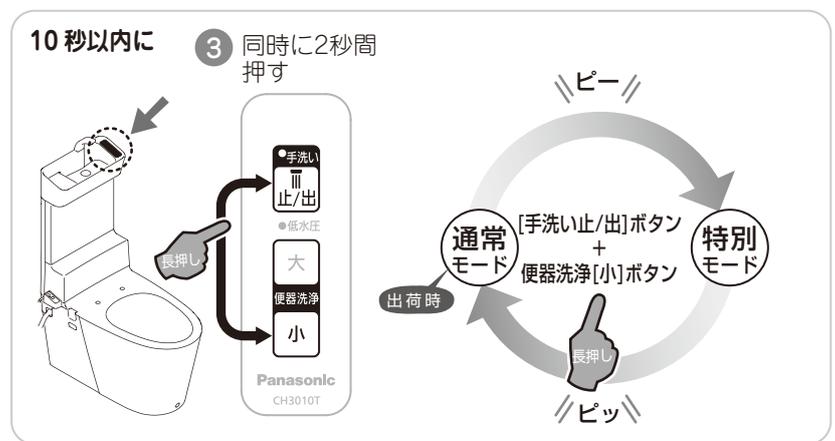
この設定変更により、手洗い操作部の[手洗い止/出]ボタンが無効となります。必ずご使用されるお客様にご説明ください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜き10秒以上待つ
- 2 便器操作部の[便器水位]ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込み、設定変更モードにする
 - [便器水位]ボタンを押し続けると「ピー」と音がして設定変更モードになります。



- 3 手順2の後、10秒以内に手洗い操作部の[手洗い止/出]ボタン+便器洗浄[小]ボタンを同時に2秒間押す

10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。その場合は、再び手順1からやり直してください。
リモコン(オプション)の[小]ボタンでは設定できません。



- 4 設定を変更後、約10秒待つ
 - 「ピー」と音がして、電源ランプが点灯に変わり、通常動作に戻ります。

通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。また便器水位を下げることはできません。

手順 8

ストレーナの掃除

- 1 止水栓を閉じ、便器洗浄[大]ボタンを押す
- 2 水受けをストレーナの下に置く

お願い

- 必ず水受けを置いてください。ストレーナの取り外しのときに、約50 cc~100 cc程度の水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをご用意ください。
- 便器や床に水がかかった場合は必ずふきとってください。

- 3 ストレーナふたを緩めストレーナを取り外す

お願い

- ストレーナの取り外しの際に、指をはさまないように注意してください。

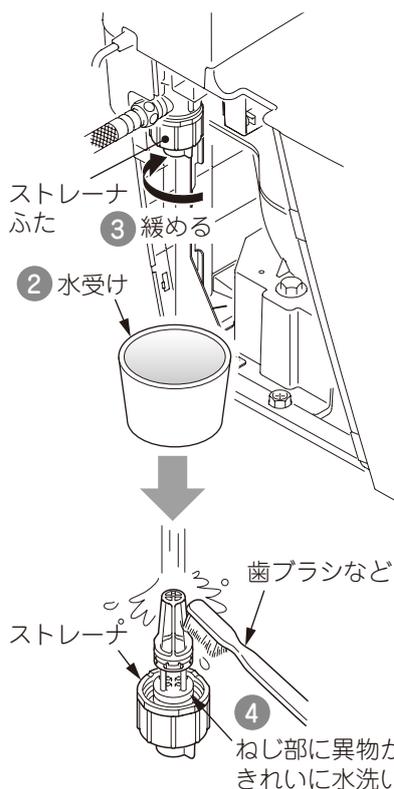
- 4 ブラシなどを使い、ストレーナをきれいに水洗いする
- 5 ストレーナを元通りに取り付ける (ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。)
- 6 止水栓を開け、水漏れがないことを確認する

お願い

- 施工後、長期間使用しない場合は、水抜きを行ってください。(30ページ参照)

お願い

- 必ずストレーナを掃除してください。施工直後は、ストレーナに配管内の水アカやゴミ、シールテープなどが詰まります。



注意



禁止

- 止水栓を開いたままストレーナを外さない
水が吹き出し拡大損害になります。



必ず守る

- ストレーナのねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする
- ストレーナふたをしっかりと締めつける
水漏れの原因になります。

施工後に、長期間使用しない場合（施工後、直ちに使用しない場合など）

便器内部の水抜き

お願い

- 長期間使用しないときは、便器内部の水を抜き、電源プラグとリモコンの電池を抜いてください。便器洗浄面のため水は抜かないでください。
- ストレーナの取り外しの際に、指をはさまないように注意してください。
- 必ず水受けを置いてください。ストレーナの取り外しのときに、約50 cc ~ 100 cc程度の水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをご用意ください。

手洗い付きの場合

- 1 止水栓を閉じる
- 2 便器洗浄[大]ボタンを押す（「ピピピ・ピピピ」と音がするまで待つ）
- 3 水受けをストレーナの下に置く
- 4 ストレーナふたを緩め、ストレーナを取り外す
- 5 [手洗い止/出]ボタンを5秒以上押し続ける（再び、手洗い給水ホース内の残圧を抜く）
- 6 「ピピ」と音がするまで待つ（手洗いランプが点滅する）
- 7 10分以上待って、手洗いランプが点滅しなくなることを確認する
- 8 ストレーナを元通りに取り付ける（ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。）

手洗い無しの場合

- 1 止水栓を閉じる
- 2 便器洗浄[大]ボタンを押す（「ピピピ・ピピピ」と音がするまで待つ）
- 3 水受けをストレーナの下に置く
- 4 ストレーナふたを緩め、ストレーナを取り外す
- 5 ストレーナを元通りに取り付ける（ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。）

注意



禁止

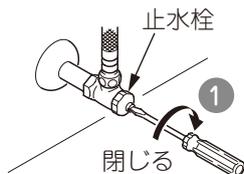
- 止水栓を開いたままストレーナを外さない
水が噴き出し拡大損害になります。



必ず守る

- ストレーナふたをしっかりと締めつける
水漏れの原因になります。

●手洗い付きの場合

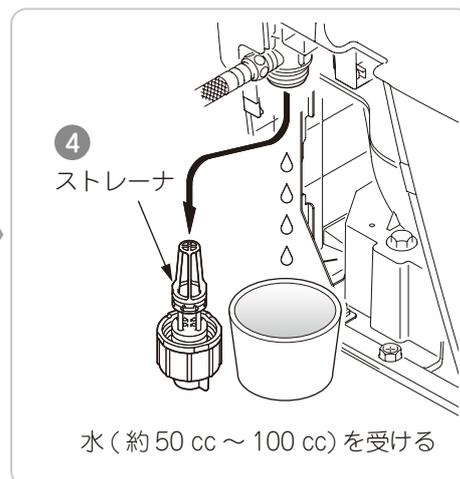
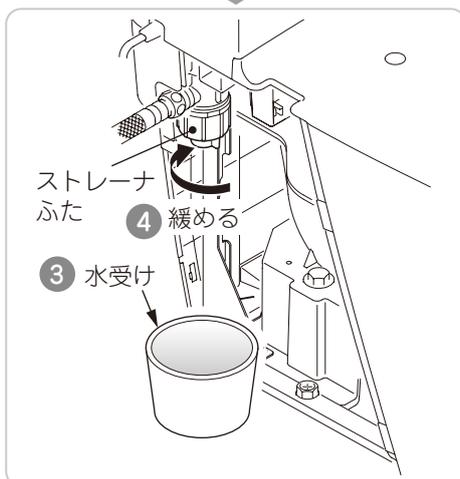


音がするまで待つ

●手洗い無しの場合



音がするまで待つ



●手洗い付きの場合

手洗い付き
5 5秒以上押し続ける



手洗い付き

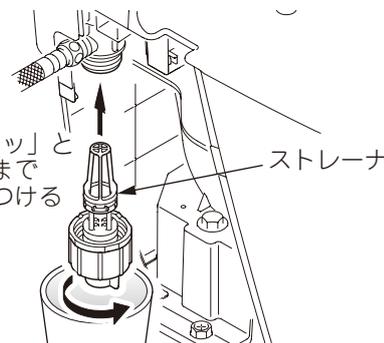
6 「ピピ」と音がして手洗いランプが点滅する

手洗い付き

7 10分以上待って手洗いランプが点滅しなくなることを確認する

手洗い付き 8
手洗い無し 5

「カチッ」となるまで締めつける



手順 9

サイドカバーの取り付け

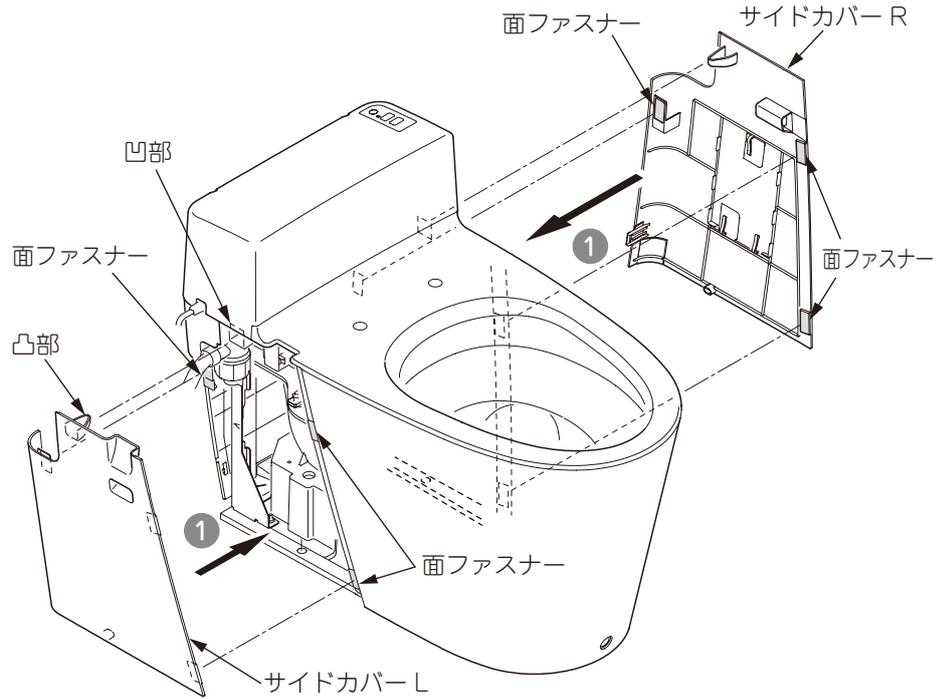
- 1 サイドカバー上部の凸部とフレームの凹部を合わせ、面ファスナー 3か所 を貼りあわせる

お願い

- サイドカバーとリアカバーのすき間が大きく開いた場合は、つまみ付ボルトの取り付け方をご参照ください。
(手洗い付きの場合) 11ページ参照

ポイント

- 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。サイドカバーが取り付けづらい事があります。



手順 10

配管カバーの取り付け
(手洗い付きの場合)

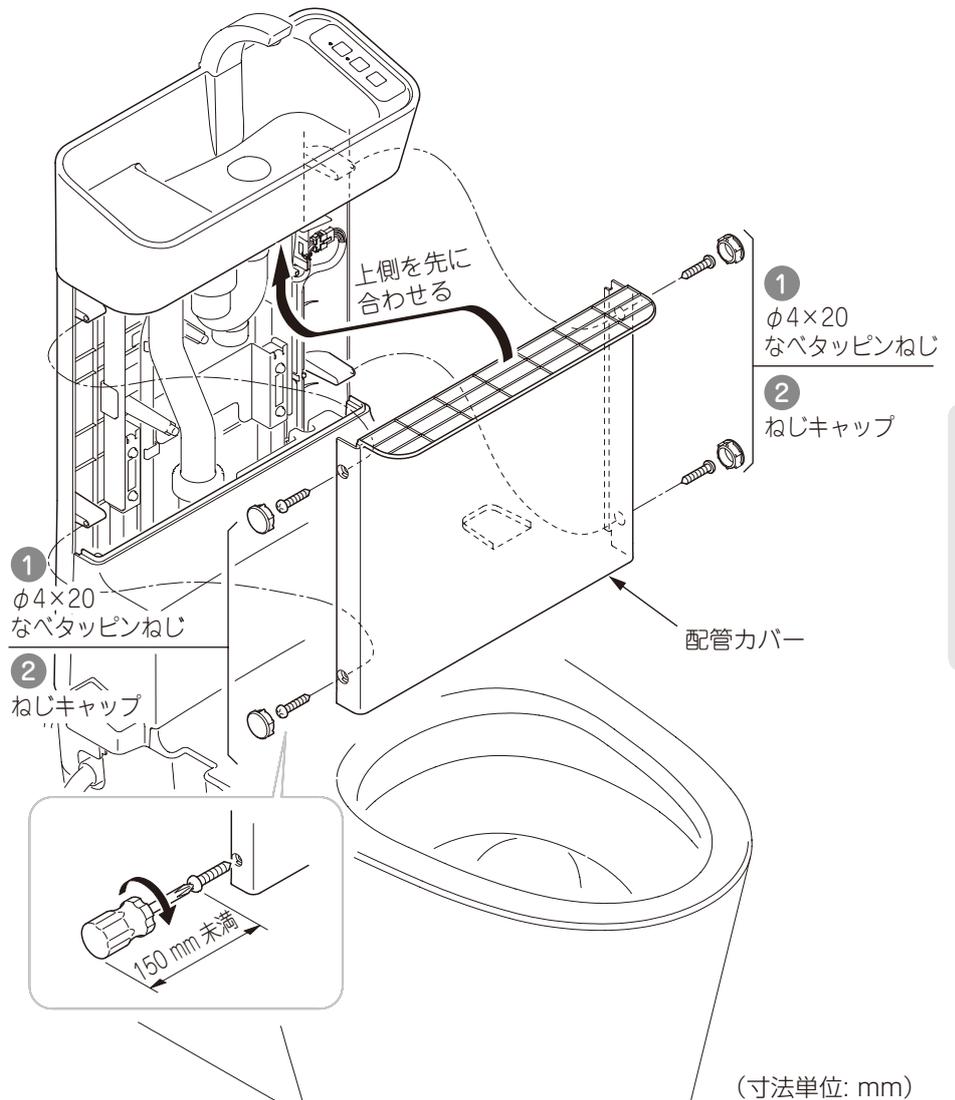
- 1 配管カバーを手洗いになべタッピンねじ $\phi 4 \times 20$ mm で取り付ける 4か所
- 2 ねじキャップを配管カバーにはめ込む 4か所

お願い

- ねじキャップに浮きがないことを確認してください。
ねじが確実に締まっていないとねじキャップに浮きができることがあります。

お願い

- 取り付けには電動ドリルドライバーを使用しないでください。
強いトルクで締めつけると破損の原因になります。



(寸法単位: mm)

▶ 施工完了チェックリスト

▶ 施工後必ず動作確認を行い、この施工完了チェックリストに施工点検結果を記入の上、お客様へお渡しください。

No.	内容	結果
1	バスルーム内など、湿気の多い場所に設置していませんか？	
2	中水道や工業用水、井戸水に接続していませんか？	
3	便器にがたつきがありませんか？	
4	便器は床に固定しましたか？	
5	「止水栓」は開いていますか？（長期間使用しない場合を除く）	
6	交流100Vに適した電源コンセントに接続していますか？	
7	電源コンセントに、がたつき・緩みはありませんか？	
8	サイドカバーは確実に取り付けてありますか？	
9	手洗いコネクタは確実に接続されていますか？	
10	大洗浄でトイレトーパーが確実に流れますか？	
11	洗浄スイッチ操作時、便器と床面の水漏れはありませんか？	
12	洗浄スイッチ操作時、配管の水漏れはありませんか？	
13	ストレーナは掃除しましたか？	
14	長期間使用しない場合、水抜きを行いましたか？（便器洗浄面のため水は抜かない）	

▶ 引き渡し

- ▶ 取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明ください。
- ▶ 施工説明書、取扱説明書、保証書(別添付)に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。

施工日	施工店名	担当者